

2026年7月期 第2四半期決算 補足説明資料

売れるネット広告社グループ株式会社

東証グロース市場(証券コード:9235)

2026年3月13日

エグゼクティブサマリ

① 第2四半期連結業績 (8月～1月)

■ 売上高 : **733**百万円 (前年実績 806百万円)
【前年差 ▲73百万円 / 前年比 91%】

■ 営業利益 : **▲86**百万円 (前年実績 ▲130百万円)
【前年差 +44百万円 **改善**】 収益性は着実に改善

② セグメント別トピックス

**高粗利のデジタルアセット・Web3事業が新たな収益源として立ち上がり、
全社の収益性改善に寄与。グループ事業のポートフォリオが着実に多角化**

エグゼクティブサマリ

③ 通期予想

通期業績予想（売上高1,880百万円・営業利益14百万円）は**据え置き**
2026年7月期下期は下記を見込む

- ・「**ビットコイン・セイヴァーによるデジタルアセット・Web3事業の拡大**」
- ・「**グローバル情報通信事業の季節需要**」
- ・「**TikTok Shopによるコマース事業の回復**」

④ M&A戦略

2026年7月期に**基本合意を4件締結**
M&A戦略については着実に進展中

※4件についてはADWAYS CHINA/ASIAの2件を含み、SOBAプロジェクトは含めておりません
※他2件については、先方意向により現時点では公表していません

1

会社概要(事業セグメント)

当社グループの事業は以下の4つのセグメントとサービスで構成

01 マーケティング支援事業

売れるD2Cつくる 売れるネット広告社
ネット広告/ランディングページに特化したクラウドサービス

最強の売れるメディアプラットフォーム 売れるネット広告社
独自のメディアプラットフォームを通じた広告配信

越境EC支援 売れる越境EC
アメリカ・中国における越境ECサービス、越境EC支援サービスを提供

AIマーケティング支援 売れるAIマーケティング社
D2C/EC/店舗の売上に寄与する「売れるAIシリーズ」の販売を中心としたサービスを提供

03 コマース事業

健康食品・化粧品等の販売 OLKS
独自で企画・開発を行っている、美容商品・美容健康食品の販売



02 グローバル情報通信事業

BtoB特化型通信機器レンタル 株式会社JCNT
海外・国内 Wi-Fiを中心としたBtoBに特化した GIN ジーアイエヌ株式会社
グローバル情報通信機器レンタル事業
※2025年度からのため2024年7月期実績には含まれず



04 デジタルアセット・Web3事業

ビジュアルコミュニケーション・Web3サービス Soba
特許ビジュアル技術の「SOBAフレームワーク・クラウド」をベースに開発したサービス提供およびWeb3サービスの提供 SOBA education

デジタルアセット・リカバリーサービス Bitcoin Savior
ビットコインをはじめとする暗号資産(仮想通貨)・NFTを含むデジタル資産の「復旧・保全」を支援

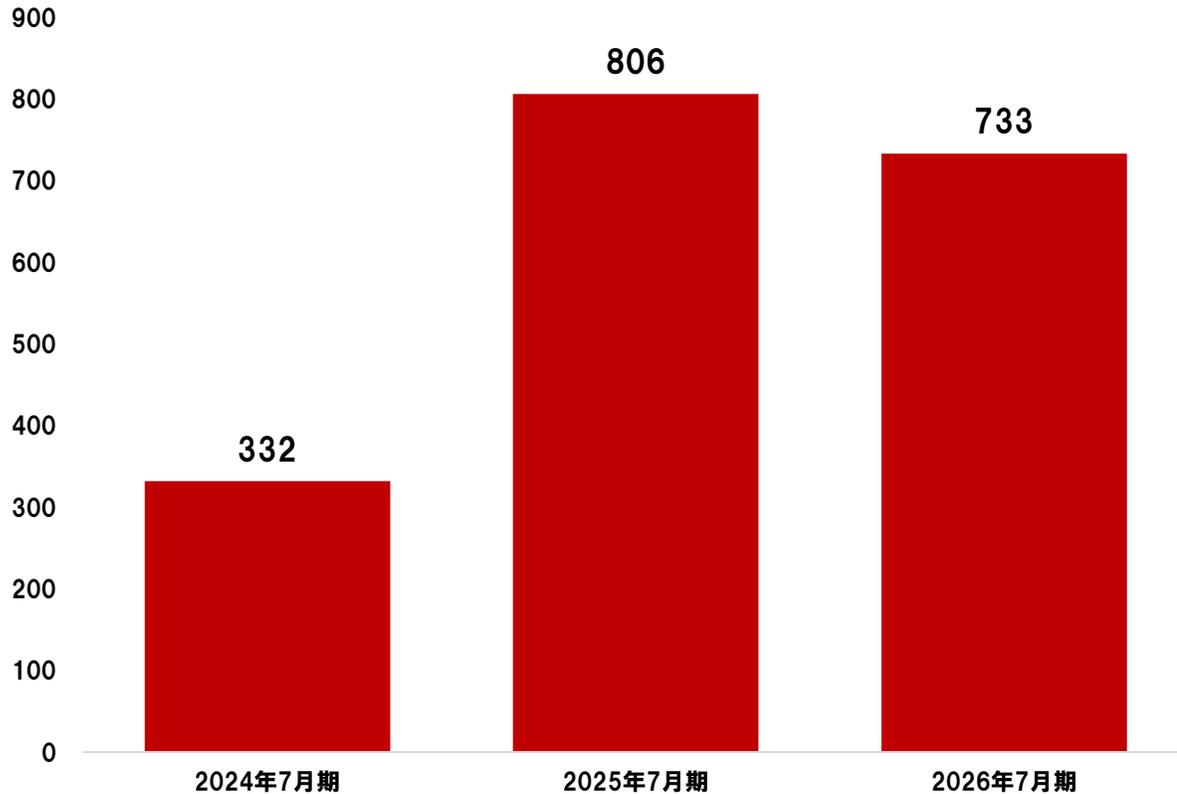


2

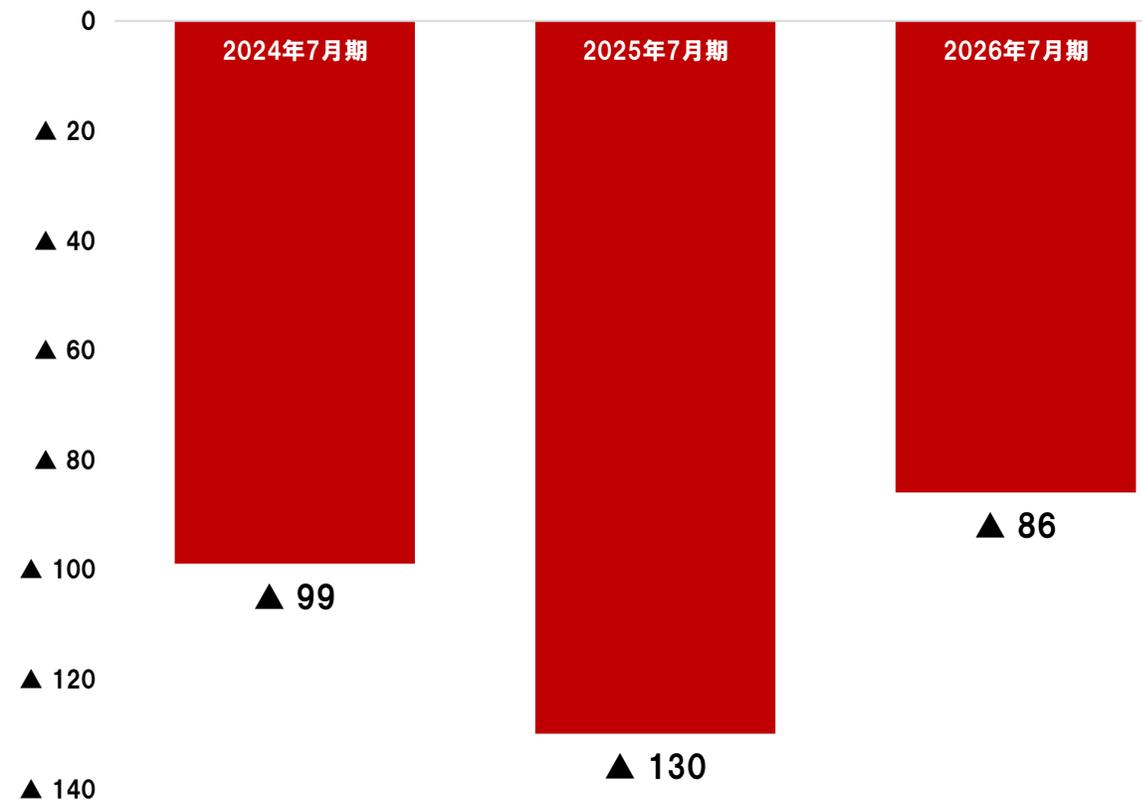
2026年7月期 全社 第2四半期決算

売上高は733百万円（前年比90.9%）、営業損失は▲86百万円（前年同期比44百万円改善）となった
 売上高については、マーケティング支援事業での大手クライアント広告予算の減少、コマース事業でのSNSアルゴリズム変更などによる獲得減少およびグローバル情報通信事業での前年イベント特需の反動で減少
 一方で**営業利益については粗利率の改善およびコスト最適化の進展により収益性が改善**

売上高 (百万円)

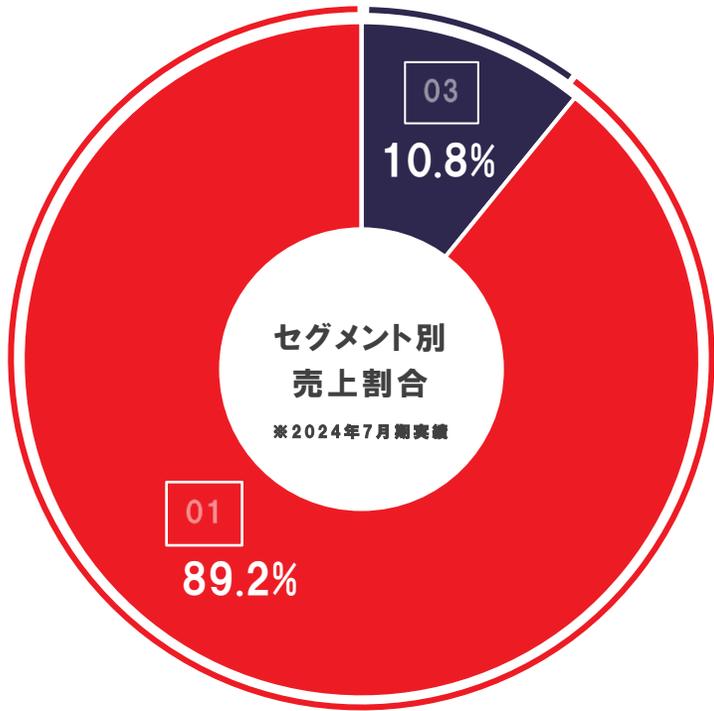


営業利益 (百万円)

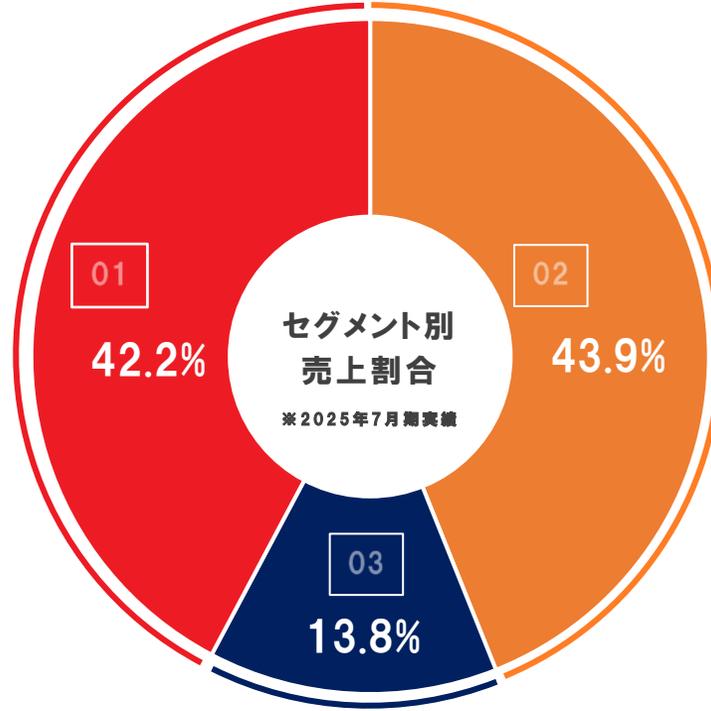


M&A・新設子会社設立によりデジタルアセット・Web3事業の
売上高が新たに計上されるなど、M&A戦略の目的である**事業の多角化は順調に進行**

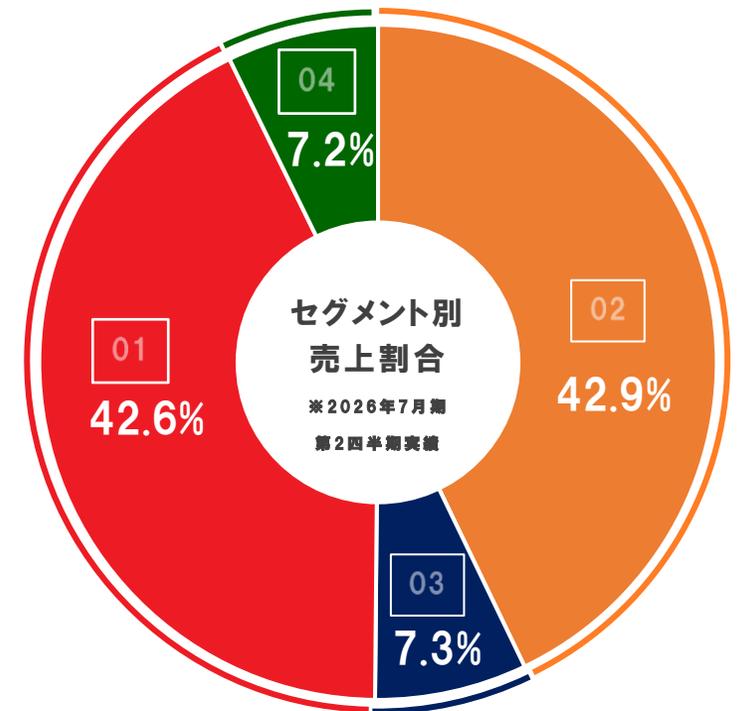
2024年7月期



2025年7月期



2026年7月期 第2四半期



01 マーケティング支援事業

02 グローバル情報通信事業

03 コマース事業

04 デジタルアセット・Web3事業

3

2026年7月期セグメント別 第2四半期決算

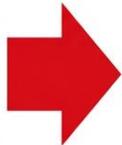
01

マーケティング支援事業

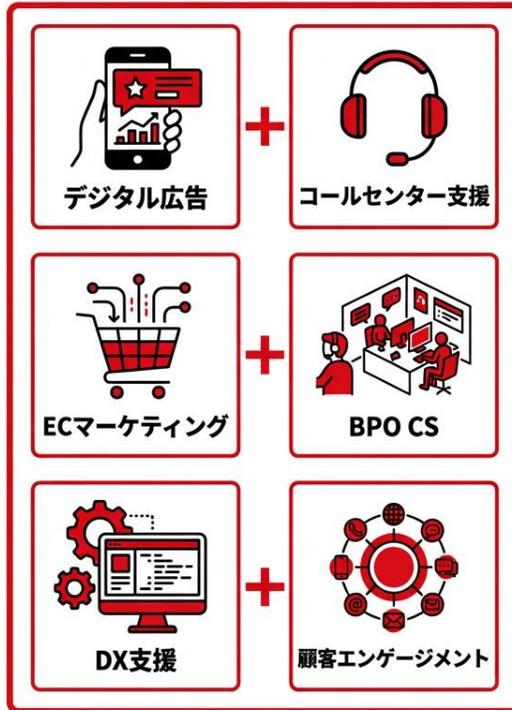
より広い事業領域へ

従来の「D2C(ネット通販)デジタルマーケティング支援事業」という枠組みを超え、コールセンター・BPOなど顧客対応領域の支援も包含する事業体制へ移行を目指しセグメント名称を「**マーケティング支援事業**」へ変更。対象業種も健康食品・化粧品に限定せず、幅広い業種をターゲットとしたサービス展開を目指す。

旧スコープ



新・拡大スコープ



従来の名称: D2C(ネット通販)デジタルマーケティング支援事業

従来のサービス提供

- ・ 健康食品/食品
- ・ 化粧品
- ・ D2C(ネット通販)事業者



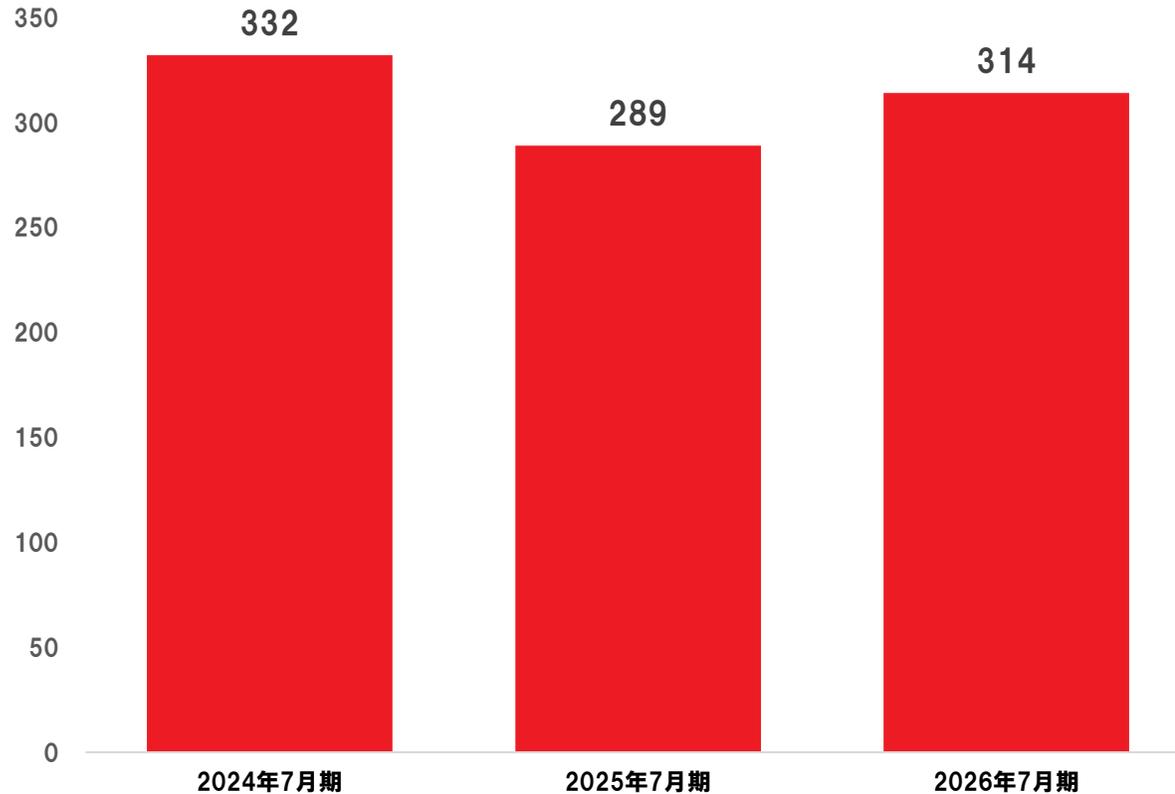
新しい名称: マーケティング支援事業

新たなサービス提供

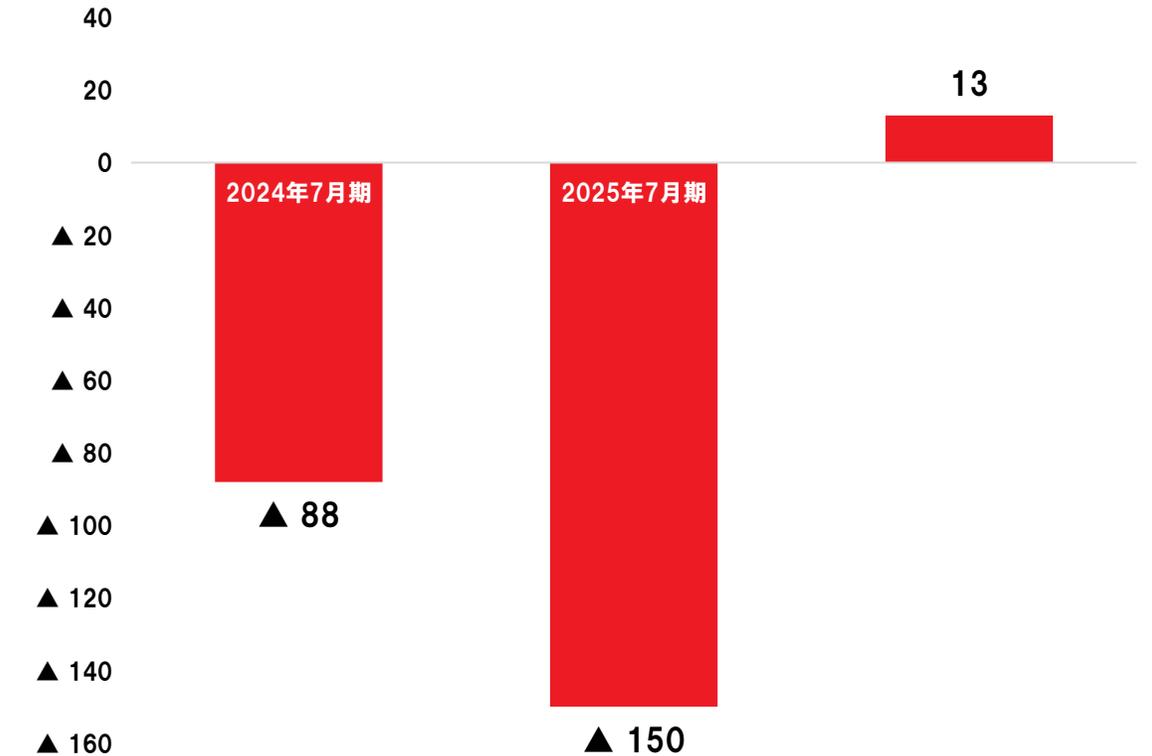
- ・ 幅広い業種・業態の法人
- ・ BtoB中心に対応
- ・ 多様なマーケティング課題に対応

マーケティング支援事業については売れるネット広告社の収益が回復しており、
2026年7月期**第2四半期（8月～1月）**は**売上高314百万円/営業利益13百万円**となり
前年比較では改善傾向

売上高 (百万円) ※決算短信セグメントから集計



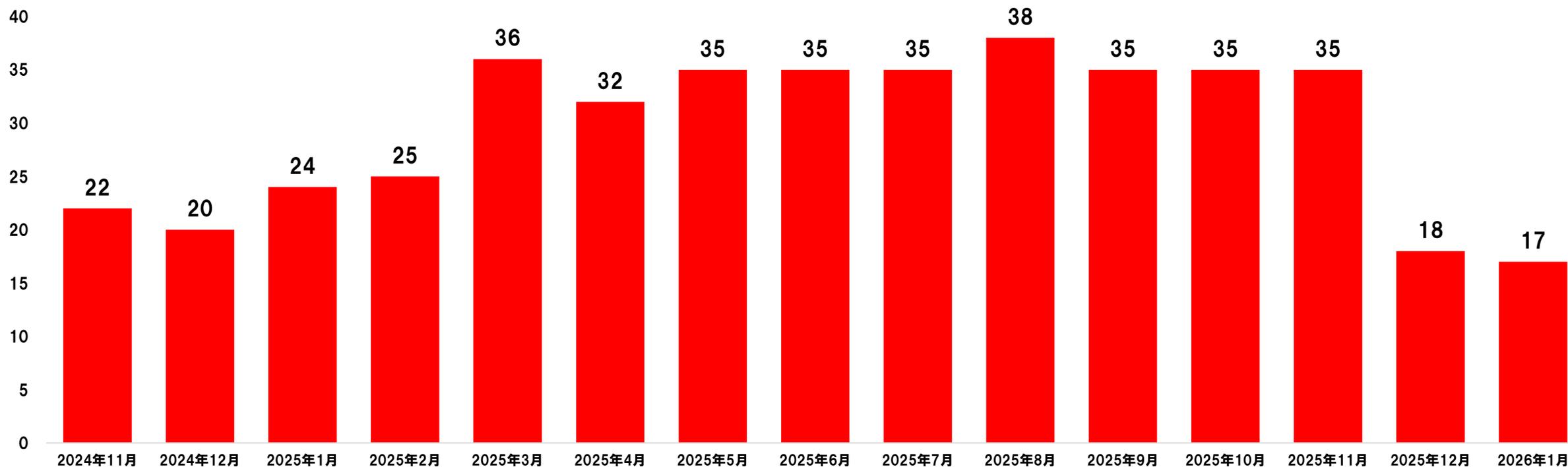
営業利益 (百万円) ※決算短信セグメントから集計



※ホールディングス体制移行のため、2025年1月以降、共通費は各セグメントから外しております

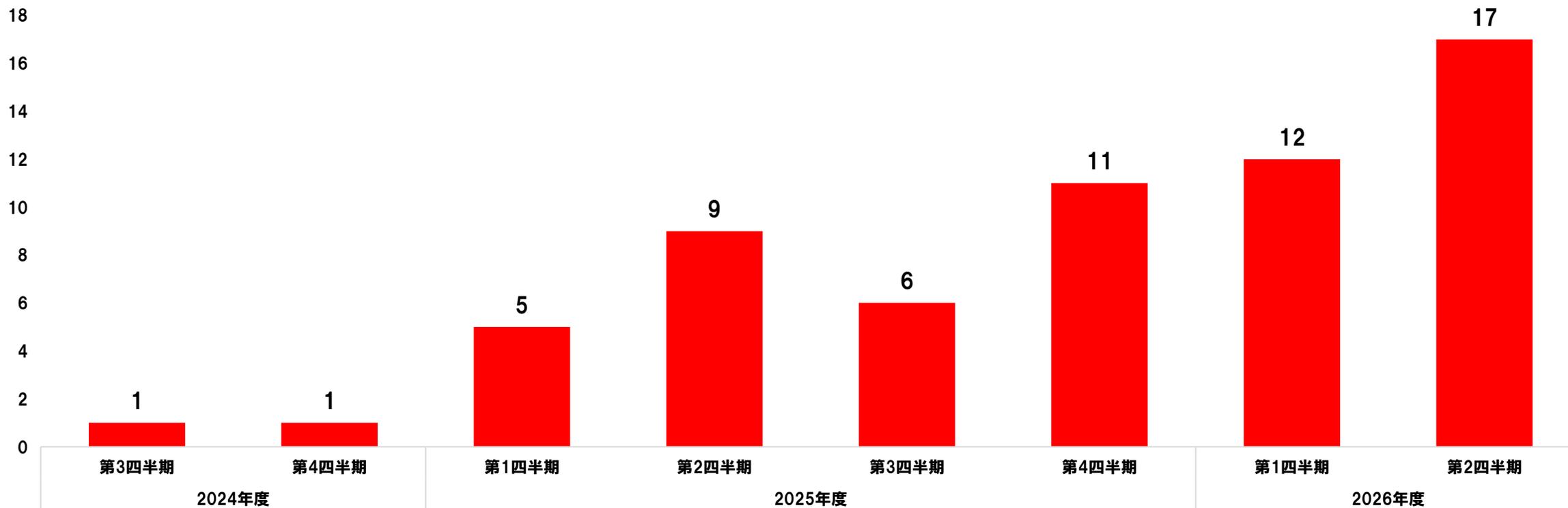
『メディアプラットフォーム』について、2024年7月期に実施した不正注文対策から徐々に回復し、2025年3月からは**30百万円以上の収益を安定的に獲得**していたが、12月に一部大手クライアントの予算が減額したため、当初想定を下回っている。

メディアプラットフォーム 売上高 (百万円)



売れる越境EC社については収益獲得に時間を要したが、
2026年7月期第2四半期については**17百万円まで売上高が拡大**
TikTokライブコマースやTikTok Shop関連の受注も複数発生しており、
2026年7月期第3四半期以降も収益拡大に向けた基盤整備が進行中

売れる越境EC社 売上高 (百万円)





02

グローバル情報通信事業



Transfone

～基本サービス一覧～

JCNTの事業概要

Transfone事業として、BtoBに特化したスマートフォン、
世界150カ国対応のクラウドWi-Fiルーターなどの
モバイル通信機器総合レンタルサービス事業



海外携帯レンタル



海外スマートフォンレンタル



海外WiFiレンタル



国内ガラケーレンタル



国内スマートフォンレンタル



国内WiFiレンタル



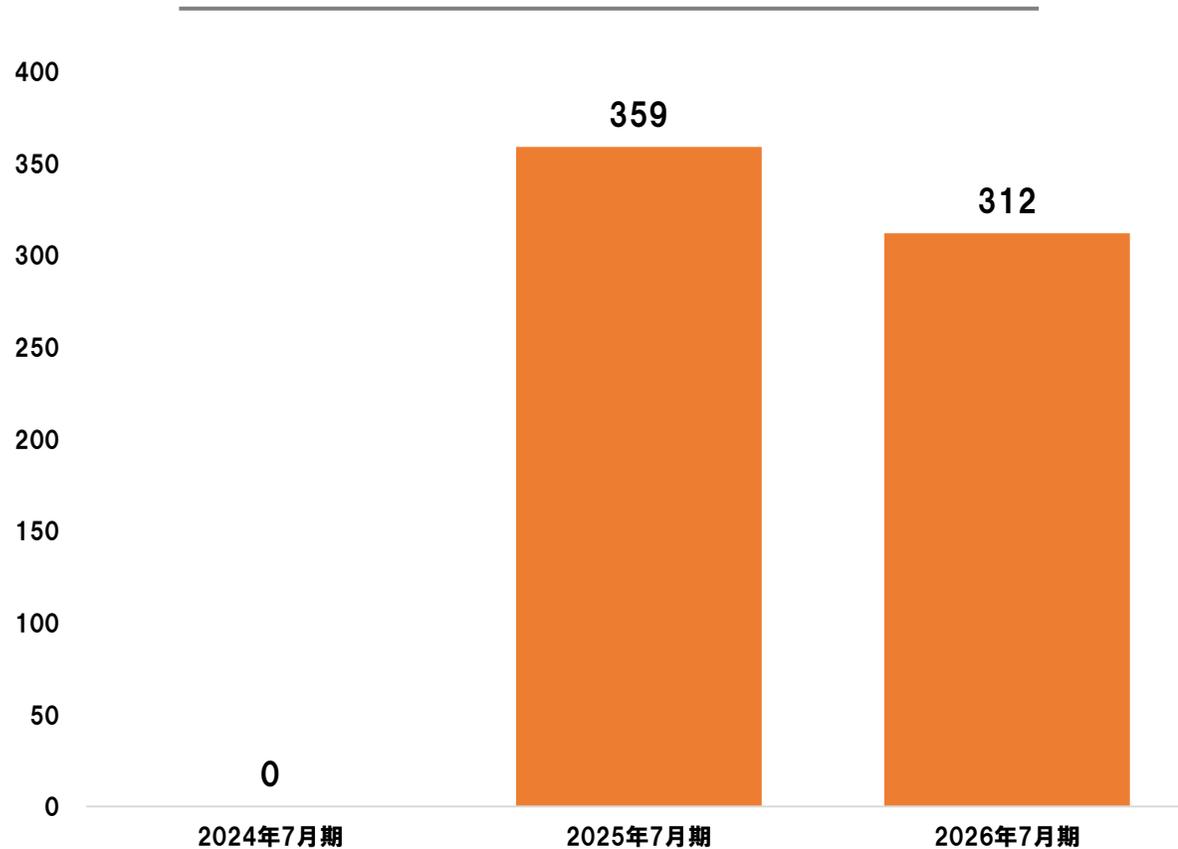
タブレットレンタル



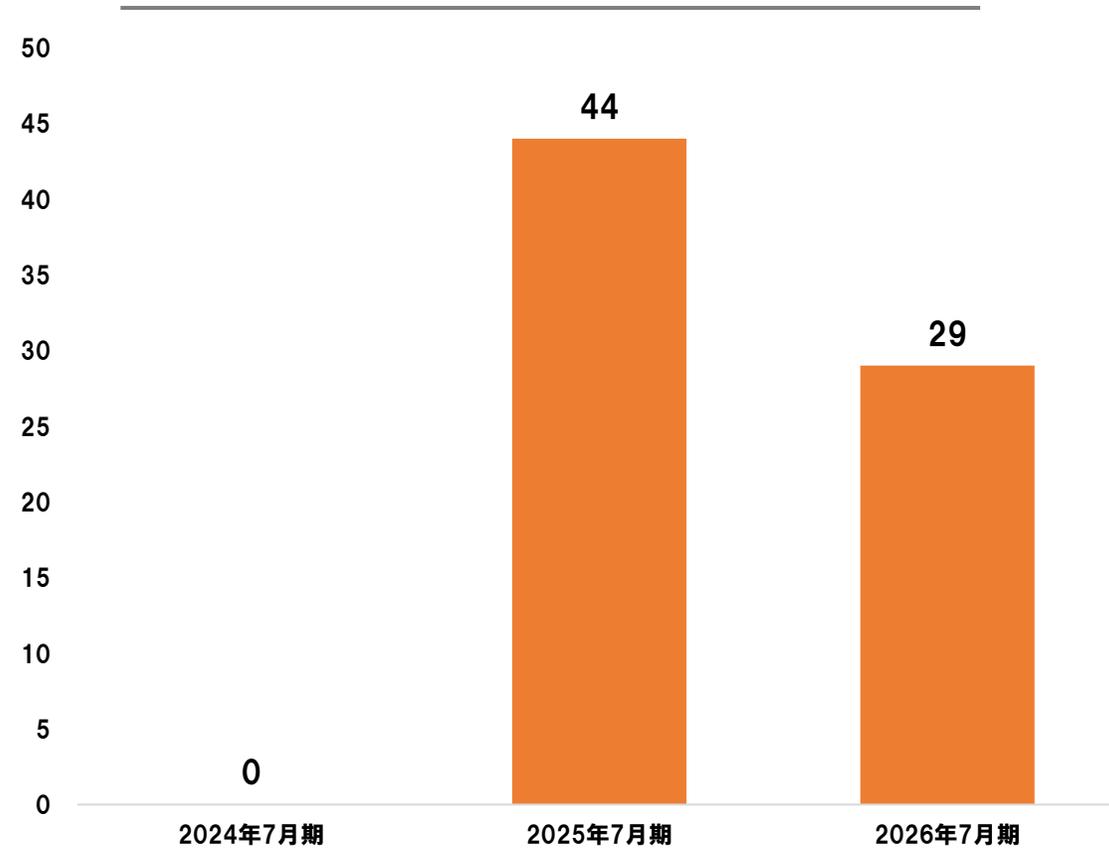
パソコンレンタル

グローバル情報通信事業については、前年は第1四半期に国際的なイベントや選挙の一過性の売上があったため、前年比では未達となっているものの、堅調に収益を獲得
費用面のコントロールも行うことができおり、**+29百万円の黒字で着地**

売上高 (百万円) ※決算短信セグメント数字



営業利益 (百万円) ※決算短信セグメント数字



A woman in a white blazer is shown from the chest up, holding a smartphone with both hands. She is looking down at the screen. The background is a soft, out-of-focus light blue. A semi-transparent blue overlay covers the entire image, and large white text is overlaid on the left side.

03

コマース事業

より広い販売チャネルへ

従来は「D2C(ネット通販)事業」として整理していましたが、近年はSNSコマースの拡大や販売チャネルの多様化が進んでいることから、特定の販売形態に限定しない事業領域を表す名称として「**コマース事業**」へ変更

「**コマース事業**」はマーケティングノウハウを蓄積する実証フィールドとしても重要な役割を担う

自社販売を通じて蓄積された多様なデータは、マーケティング支援事業における提案力・実行力の強化に直結

従来の名称

D2C(ネット通販)事業

インターネット通販を主軸とした販売形態に特化した事業区分として整理しており、特定の販売チャネルに依存した定義となっていた

新しい名称

コマース事業

SNSコマースの拡大や販売チャネルの多様化が進む現状を踏まえ、特定の販売形態に限定しない、より広義の事業領域を表す名称に変更

自社販売

データ蓄積

価値還元

マーケティング活用



製品一覧



●Premium Microbe Essence
 独自成分「YUKIME」を配合し、
 保湿力で乾燥から肌を守る美容液



●ジグムアルファ
 亜鉛と特許取得シトルリン×黒ショウ
 ガのヘルスサプリ



●リッチホワイト
 メラニン、シミケアに対応できるよう開
 発された薬用美白クリーム



●オルキュア
 「歯を白く、美しく」5つの有効成分配
 合の薬用ホワイトニングハミガキジェル



●ル バブリングジェルマスク
 炭酸の力で詰まりや汚れを落とす
 W発泡ジェルパック



●KogaO+
 パラベンフリー、オリジナルの美容成分
 配合し、顎から頬にかけて引き締めて、
 ハリアップを促す美顔マスク



●コクフア
 ダメージを抑えて白髪を着色し、
 ツヤめく美髪へ導く
 発酵クリームシャンプー



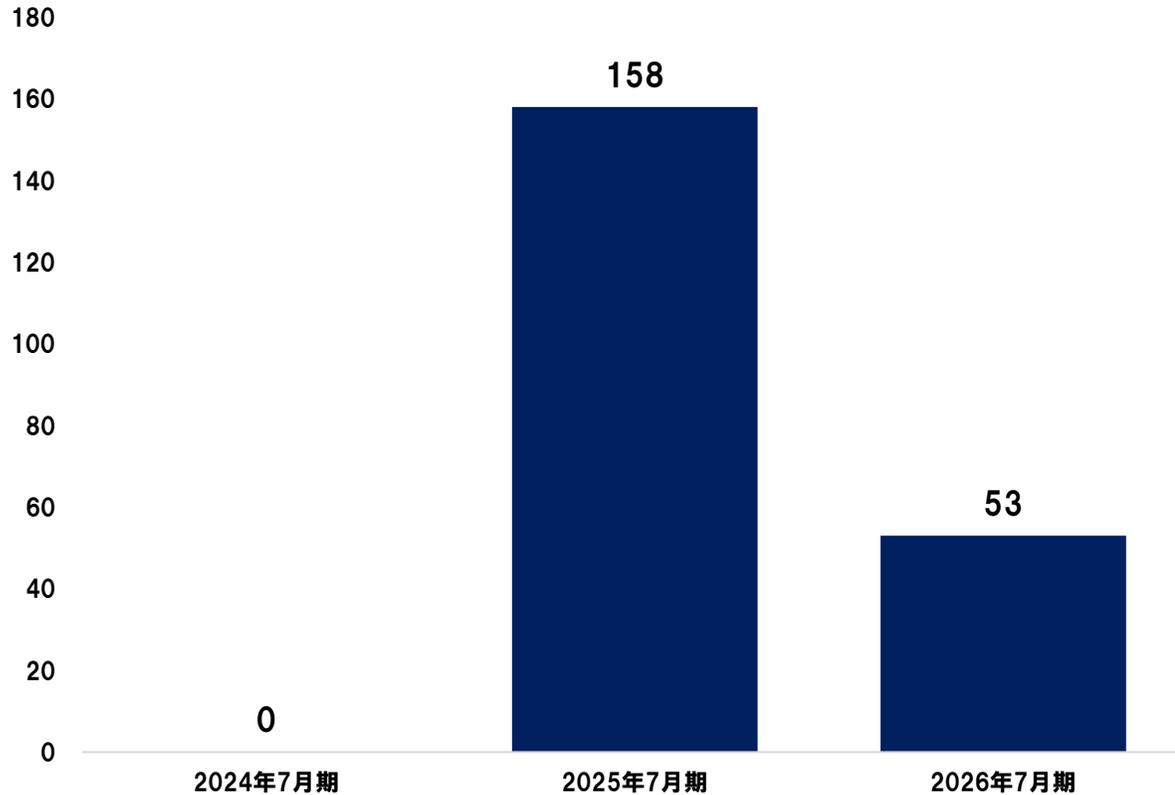
●ル ブランショット
 美白だけでなくエイジングケア
 のことも考え、独自成分をW配合した
 薬用美白美容液



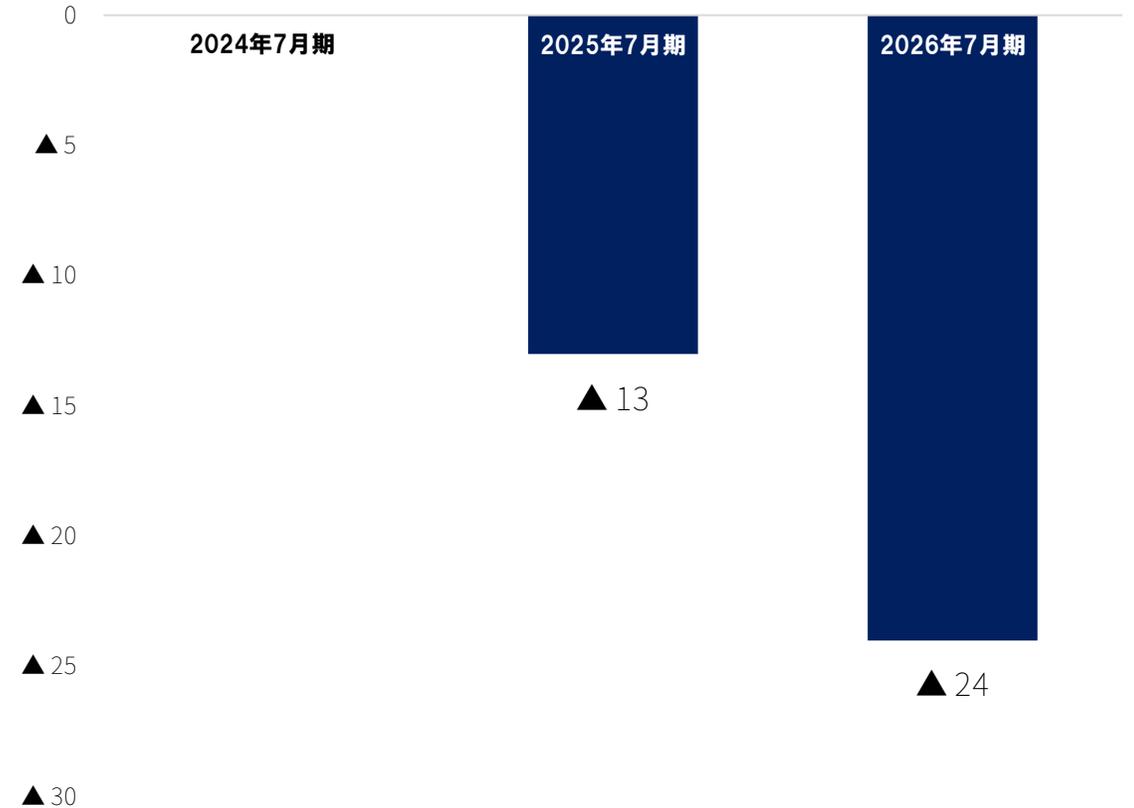
●VITA JAM(ビタジャム)
 濃炭酸と4種類のビタミンC誘導体な
 どの成分で、毛穴すっきり極上エステ
 体験ができる生発泡VCパック

コマース事業については、2026年7月期は前年獲得が順調だったSNS経由の獲得について対象SNSのアルゴリズムが変更したことなどの影響により、売上が減少し減収減益となった

売上高 (百万円) ※決算短信セグメント数字

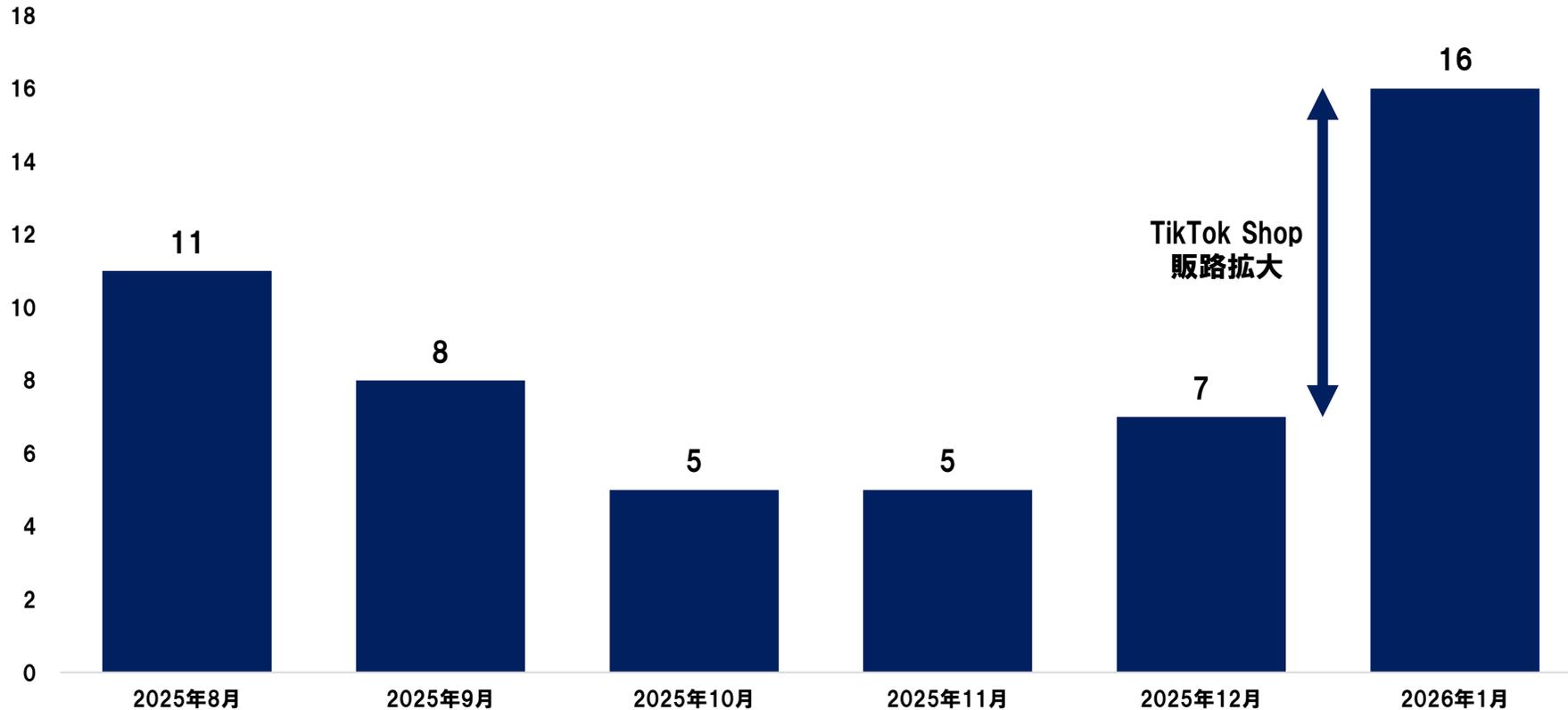


営業利益 (百万円) ※決算短信セグメント数字



なお、月別に見ると、2026年7月期第2四半期に本格的に取り組みを開始したTikTok Shopの販路拡大により徐々に回復の兆しが見えており、2026年1月は16百万円の売上を計上しており、下期は売上回復を見込む

売上高推移 (百万円)



04

デジタルアセット・Web3事業



デジタル資産領域のサービス強化へ

従来は「ビジュアルコミュニケーションDX・Web3事業」として整理していたが、暗号資産をはじめとするデジタル資産領域でのサービス展開を急速に拡大していく予定のため、事業内容をより適切かつ明確に表現するため「デジタルアセット・Web3事業」に名称を刷新

従来の名称

ビジュアルコミュニケーションDX・Web3事業

オンラインコミュニケーションを活用したサービスと、NFTなどのWeb3関連サービスを一体的に推進することから、これらの事業領域を包括する名称として設定

新しい名称

デジタルアセット・Web3事業

ビジュアルコミュニケーションDX領域の取り組みを継続しながら、暗号資産・デジタル資産関連サービスの拡充にも注力し、両輪で事業成長を推進

●主要サービス

デジタル資産復旧

暗号資産ウォレットのパスワード紛失や秘密鍵紛失などによりアクセスできなくなったデジタル資産の復旧を支援するサービス。専門的な技術を活用し、利用者がアクセスできなくなった暗号資産の復旧をサポート。

ビジュアルコミュニケーションDX

独自技術である「SOBAフレームワーク」を活用することで、ビジュアルコミュニケーションサービスを低コストかつ高品質に開発・提供できることが強み。これにより、企業や教育機関などにおけるデジタルコミュニケーションの活用を支援。

NFT関連

NFT(Non-Fungible Token)などのブロックチェーン技術を活用し、デジタルコンテンツの発行や流通、管理などを支援するサービス。デジタルコンテンツの新たな価値創出や権利管理の仕組みとして、Web3領域における活用を推進。

SOBAプロジェクトサービス一覧

独自技術である「SOBAフレームワーク」を活用し、様々なビジュアルコミュニケーションサービスを開発・提供

<p>保険販売</p> <p>大手保険会社「オンライン販売システム」</p> 	<p>オンライン面談</p> <p>ブロードマインド様「ブロードトーク」</p> 	<p>eラーニング</p> <p>声優eラーニングシステム「SPOT」</p> 	<p>オンライン面接</p> <p>オンライン面接・ウェブ面接システム</p> 	<p>手話通訳</p> <p>遠隔手話通訳システム</p> 
<p>通訳</p> <p>オンライン通訳システム</p> 	<p>介護</p> <p>オンライン介護システム</p> 	<p>デジタルサイネージ</p> <p>駅・デジタルサイネージシステム</p> 	<p>オンライン家庭教師</p> <p>オンライン家庭教師システム</p> 	<p>遠隔医療</p> <p>遠隔医療システム</p> 



Bitcoin Savior

ビットコイン・セイヴァー

12月1日に国内上場企業初！ デジタルアセット・リカバリー事業への参入

市場機会:眠れる資産60兆円

370万 アクセス不能なビットコイン

パスワード紛失等により世界中でアクセス不能となっているビットコインの推定量

60兆円 復旧ニーズの規模

日本円換算での「眠れる資産」の推定総額。極めて大きな市場機会を示しています

当社グループが提供するサービスは、こうした「眠れる資産」を取り戻すことを主要な目的としており、個人ユーザーに加えて法人の資産管理や相続関連分野への支援にも対象を広げてまいります。



他社に断られた

複数の業者に依頼したが、技術的に不可能と匙を投げられた。



パスワードの完全喪失

パスワードもニーモニックフレーズも完全に失い、手がかりが一切ない。



記憶が曖昧

どのウォレットに、どの資産を入れたか、全く思い出せない。

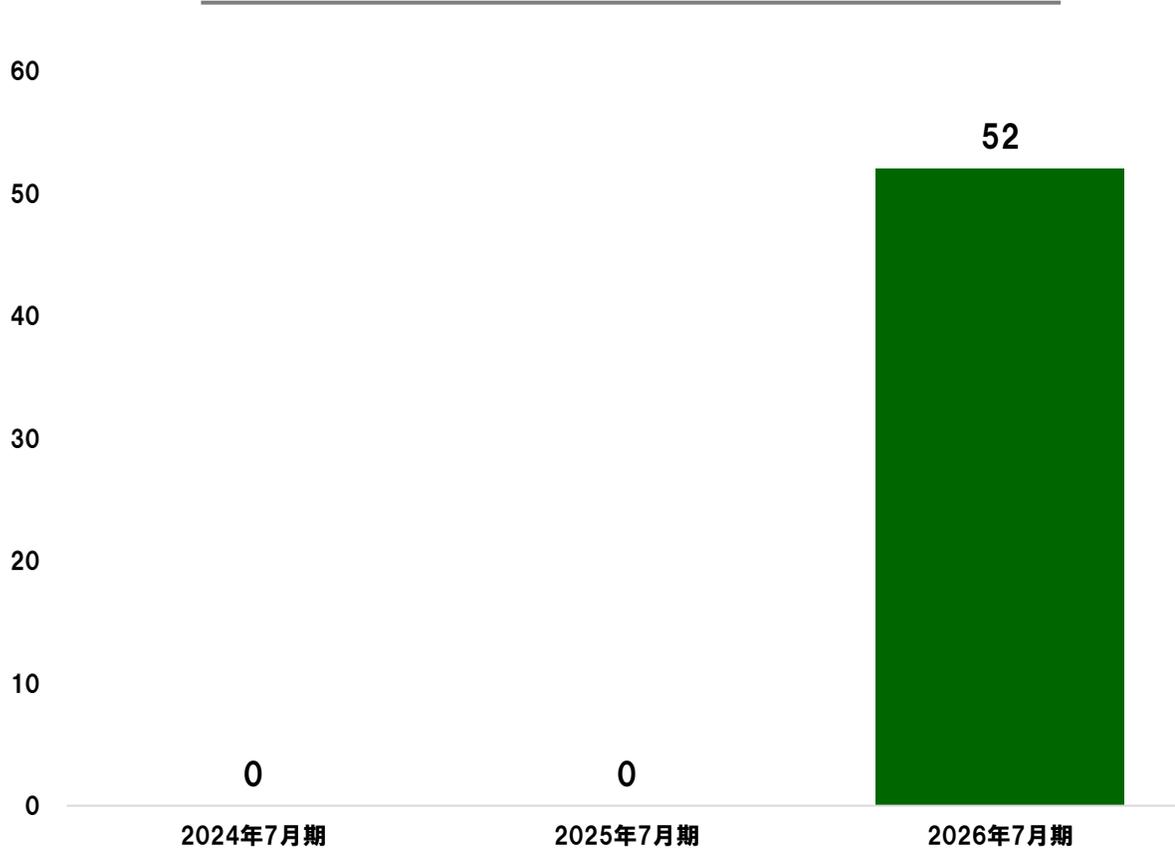


デバイスの破損

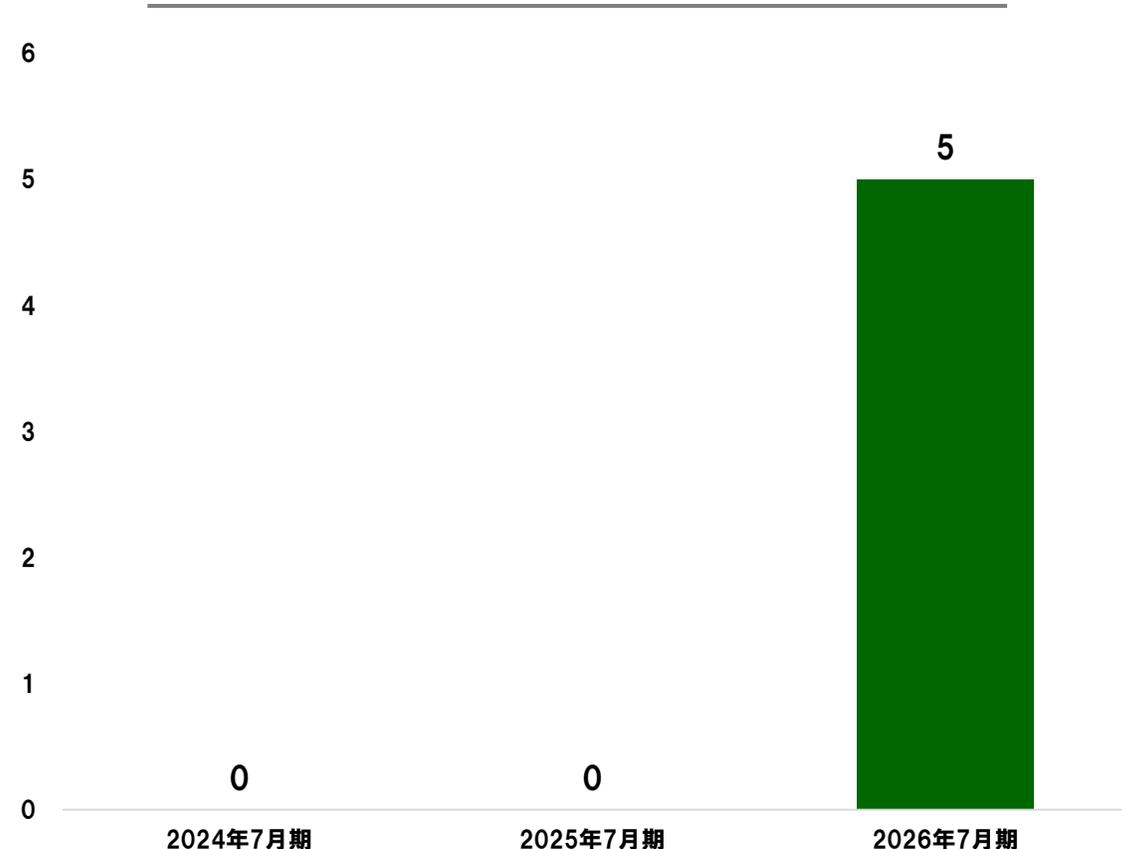
火事、水没などでハードウェアウォレットやPCが物理的に破損した。

SOBAプロジェクトの売上高が堅調に推移し、12月に立ち上げたビットコイン・セイヴァーについても1月に第1号解除案件が誕生する等順調に推移しており、営業利益は+5百万円の黒字で着地

売上高 (百万円) ※決算短信セグメント数字



営業利益 (百万円) ※決算短信セグメント数字からM&A費用除く

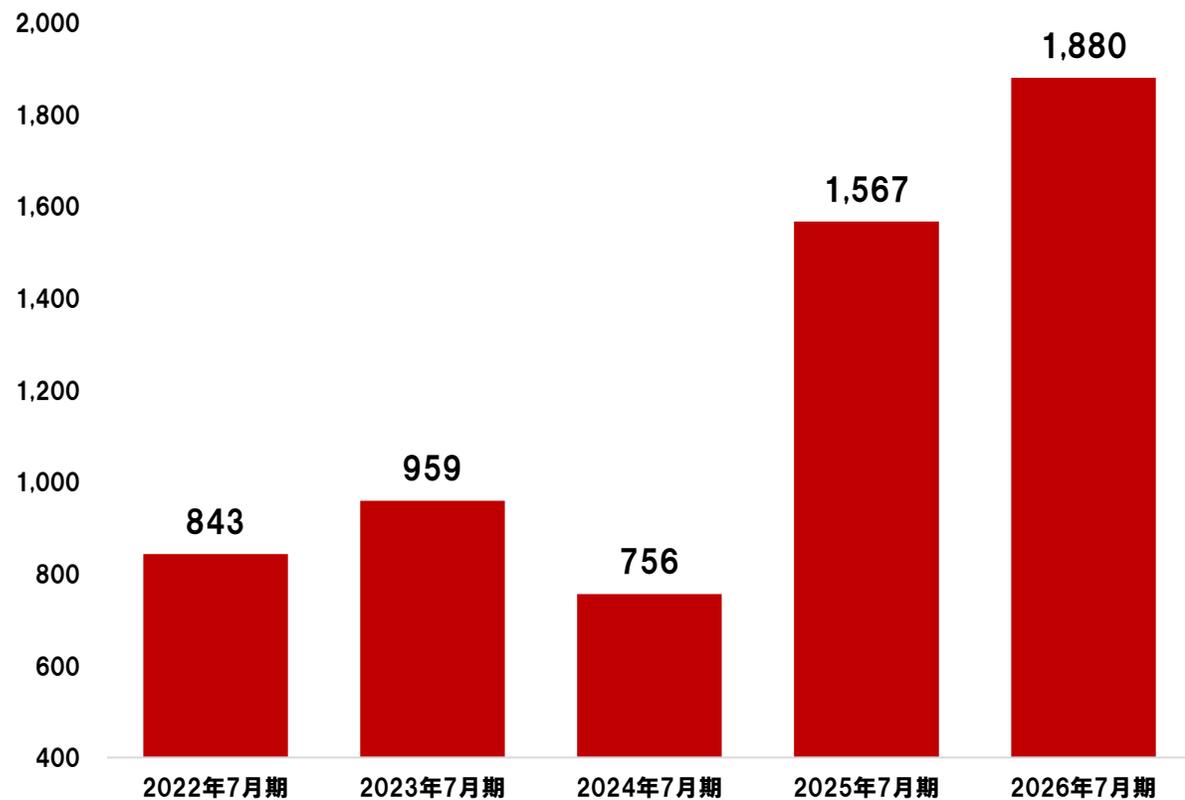


4

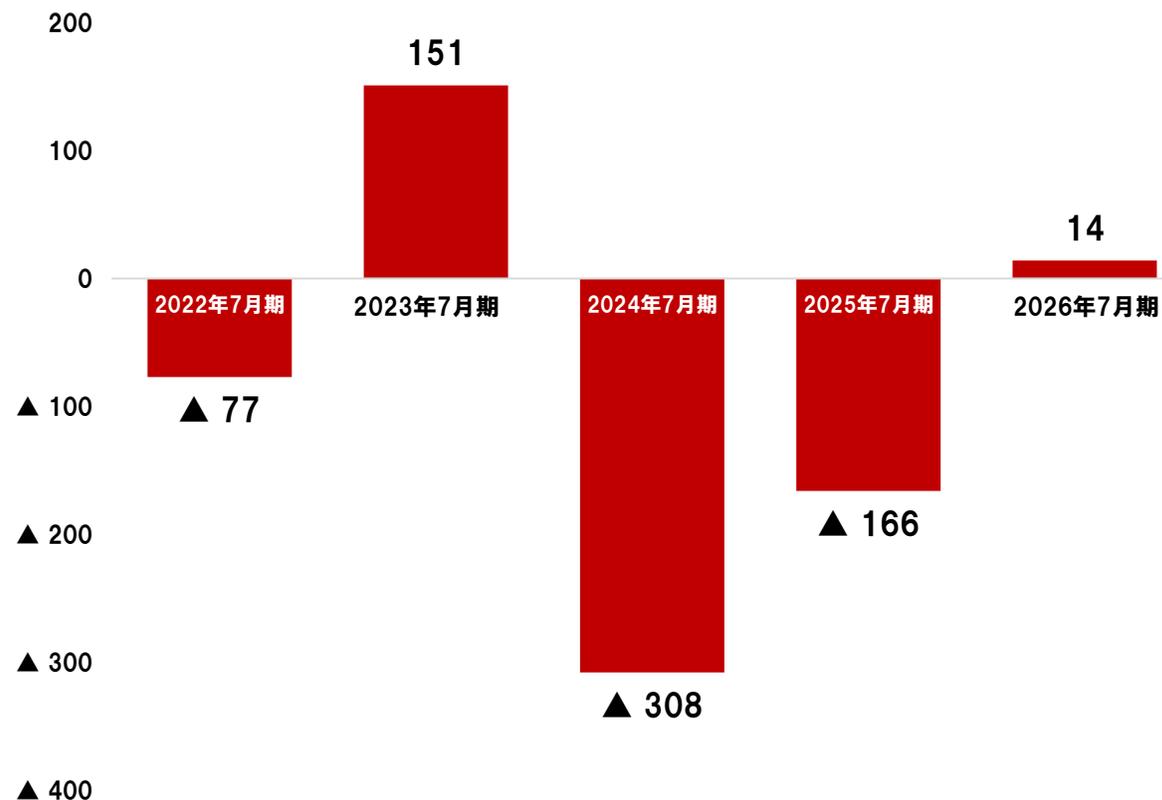
2026年7月期 全社
通期（下期）見通し

2026年7月期全社通期見通しについては、
売上高は1,880百万円（前年比120.0%）、営業利益は14百万円（前年比180百万円改善）と
期初連結業績予想から変更なし

売上高 (百万円)

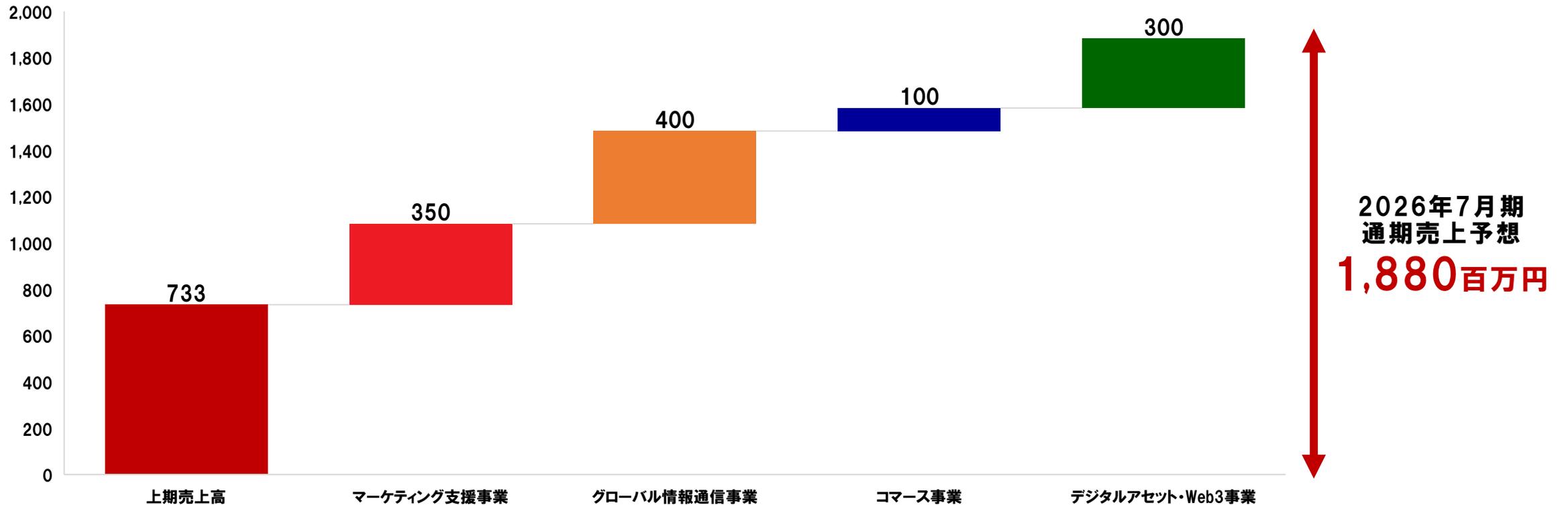


営業利益 (百万円)

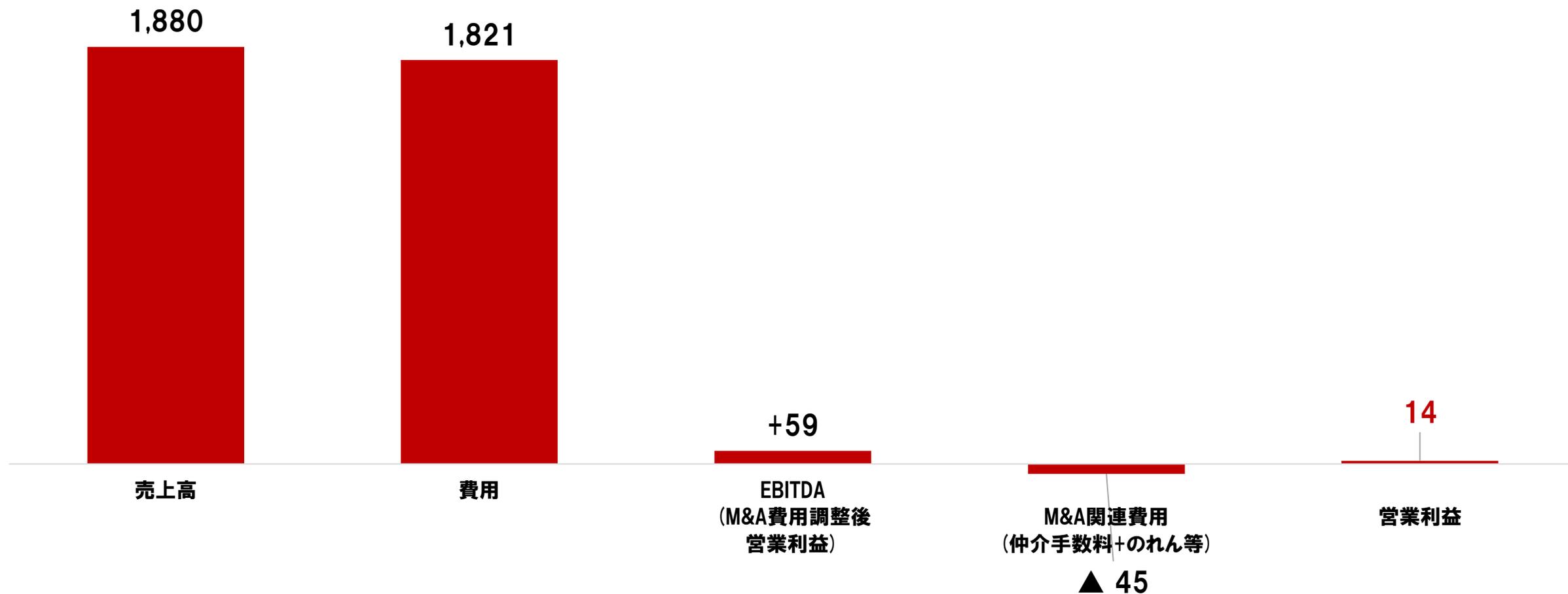


セグメント別に見ると、マーケティング支援事業が当初想定を下回っているものの
デジタルアセット・Web3事業が順調に拡大し、想定を上回って推移
収益構成は変更となったが、2026年7月期通期売上高は1,880百万円を見込んでおり、**期初予想から変更はなし**

売上高 (百万円)

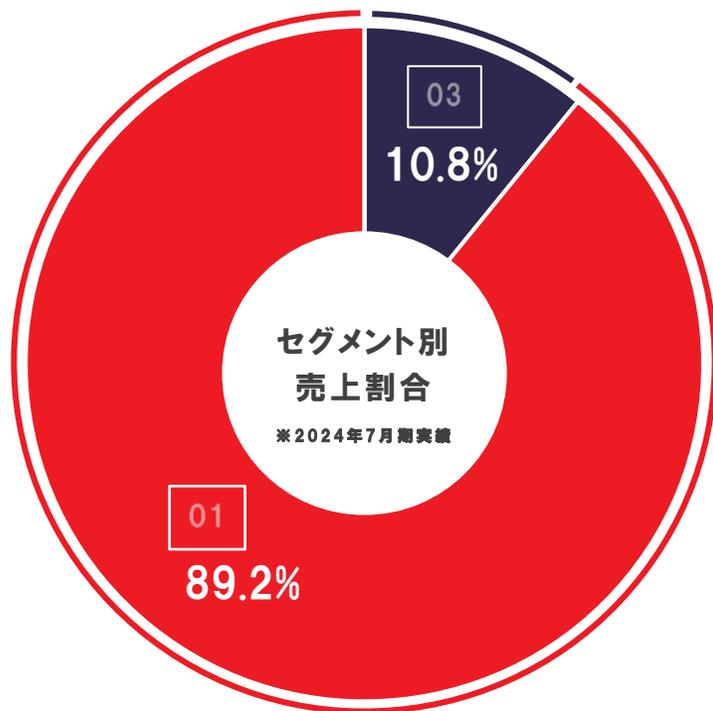


また2026年7月期通期営業利益予想については、セグメント別の収益構成が変わったが「マーケティング支援事業」と「デジタルアセット・Web3事業」の利益率は大きく変わらないため
売上高1,880百万円を達成した場合、営業利益14百万円となる想定であり、期初予算から変更はなし

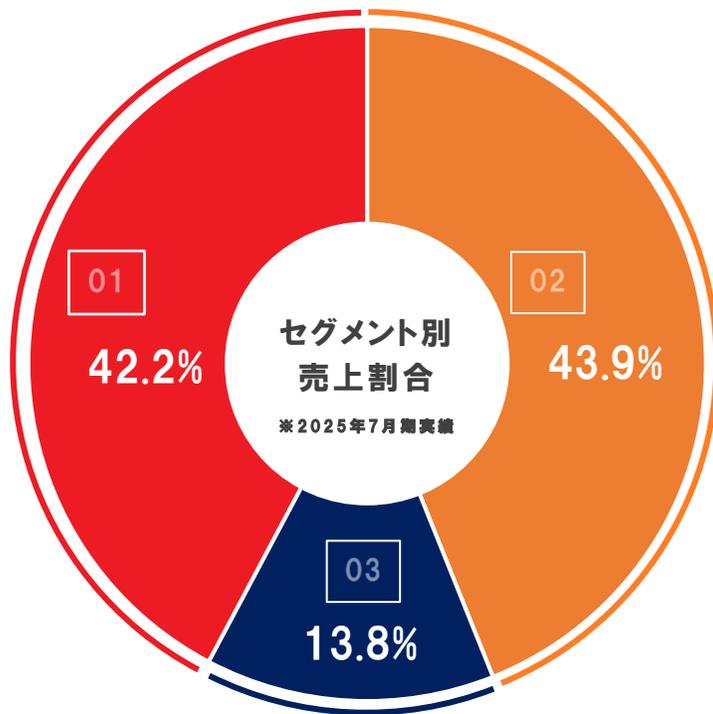


2026年7月期の**通期**セグメント別売上割合については
デジタルアセット・Web3事業の売上割合が大きく伸びる想定であり、**事業の多角化は順調に進行**

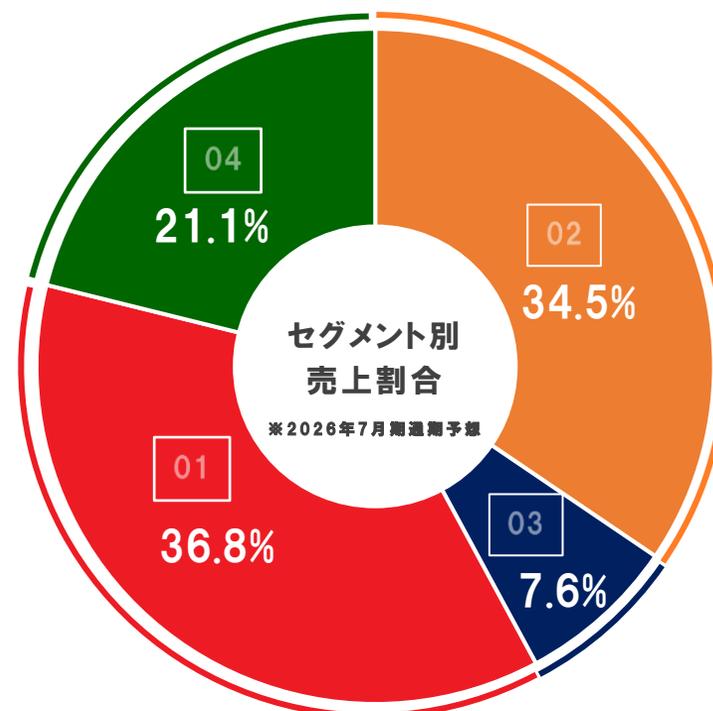
2024年7月期



2025年7月期



2026年7月期



01 マーケティング支援事業

02 グローバル情報通信事業

03 コマース事業

04 デジタルアセット・Web3事業

2026年7月期

5

セグメント別

通期（下期）見通し

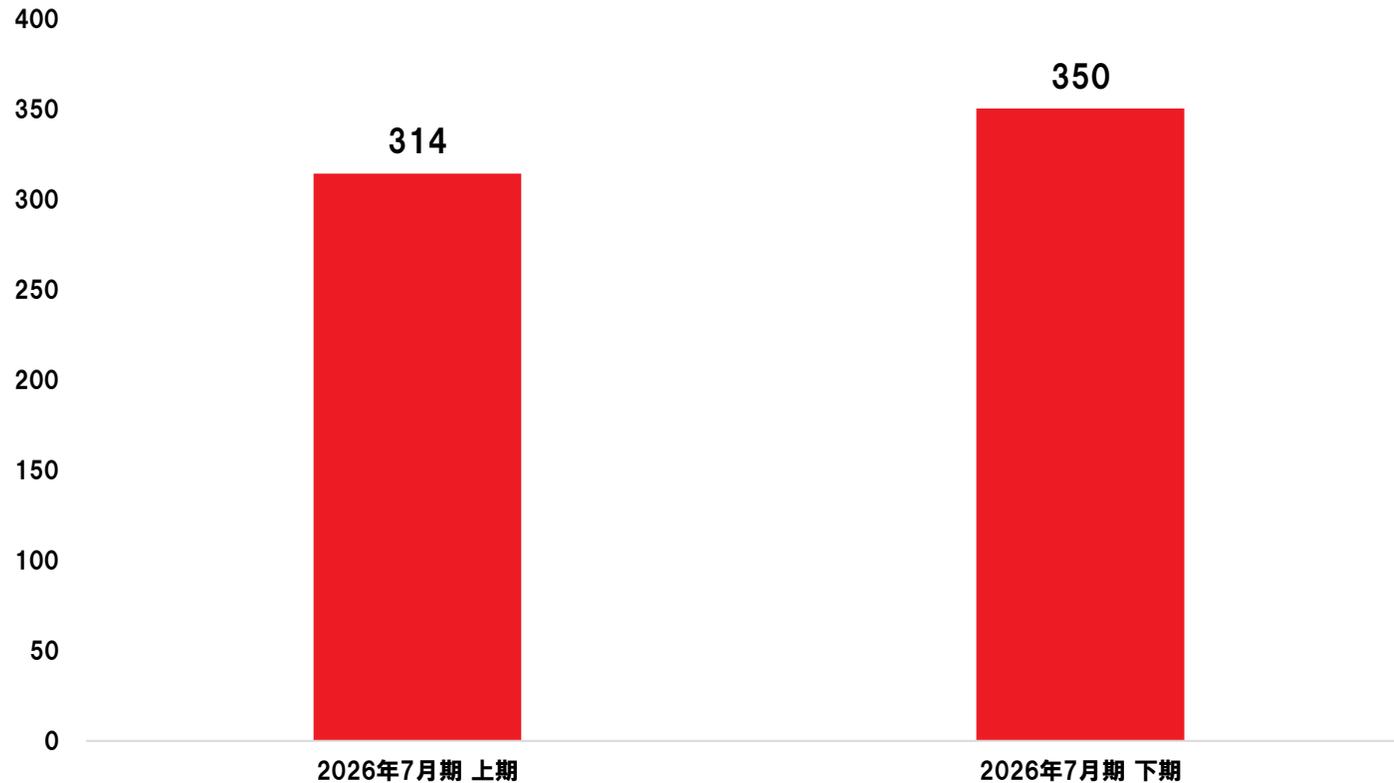


01

マーケティング支援事業

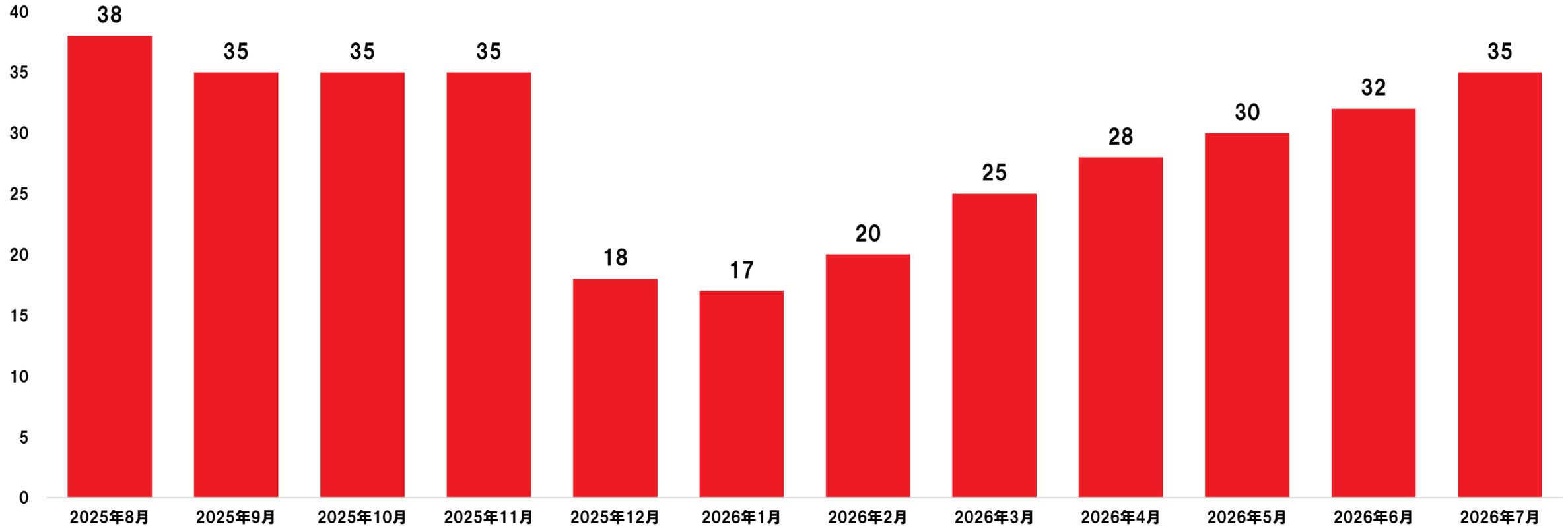
マーケティング支援事業の2026年7月期通期（下期）見通しについては
売れるネット広告社は上期と同程度を想定しており、売れる越境EC社の収益が順調に業績を伸ばしているため、
2026年7月期下期は売上高350百万円となり上期を上回る想定

売上高 (百万円) ※決算短信セグメントから集計



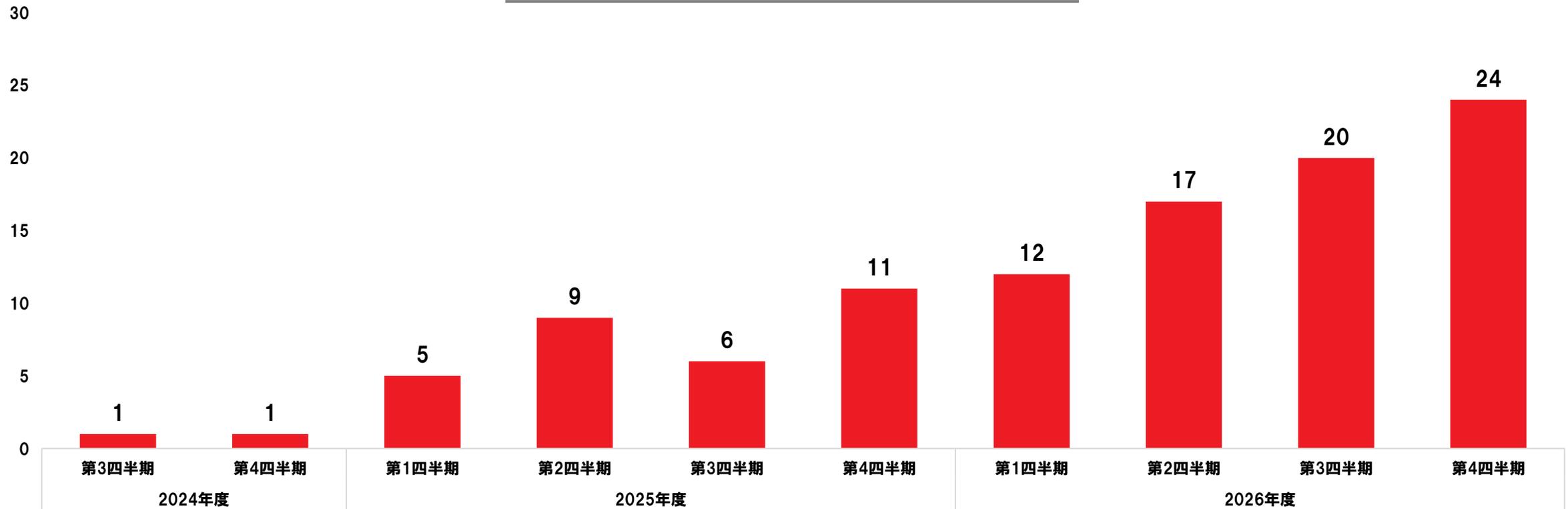
主要サービス別にみると、売れるネット広告社の主要サービス『メディアプラットフォーム』による売上高について第2四半期に一時的に主要クライアントからの広告予算が減少したものの、広告予算回復や新規クライアントの獲得により段階的に回復をしており、第4四半期には**30百万円以上へ収益回復を想定**

メディアプラットフォーム 売上高 (百万円)



売れる越境EC社については、2026年7月期第2四半期に17百万円まで売上高が拡大。
TikTokライブコマースやTikTok Shop関連の受注が複数あり、
2026年7月期第3四半期以降にサービス提供が始まっており、収益は拡大していく想定

売れる越境EC社 売上高 (百万円)



また、マーケティング支援事業領域については、昨年度売上高22百万円・粗利益10百万円の収益を獲得した**D2Cの会フォーラム**が**2026年6月開催予定**であり、今年度も前年と同程度の収益を想定

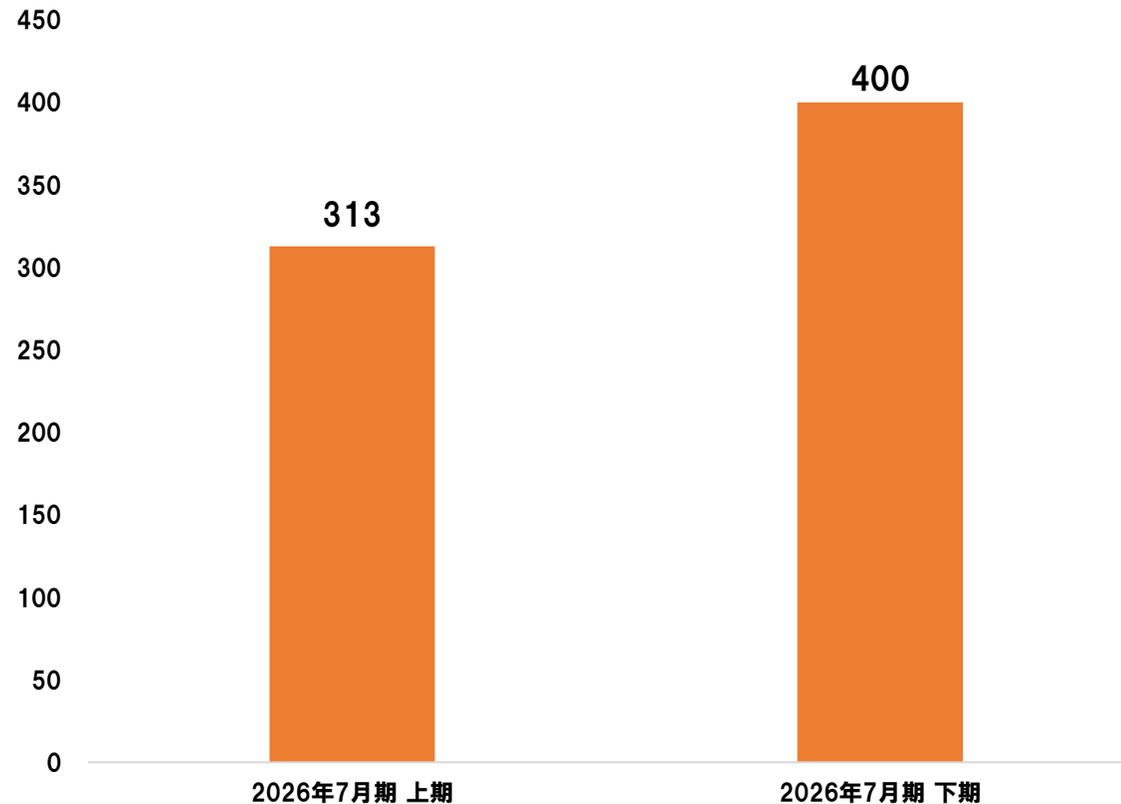
A person wearing a white uniform is holding a cardboard box with both hands. They are also holding a smartphone in their right hand, which is positioned over the box. The background is a soft, warm-toned wall.

02

グローバル情報通信事業

グローバル情報通信事業の2026年7月期通期（下期）見通しについては、
2月～3月に開催された国際イベントや2月の衆議院選挙による収益を第3四半期に計上予定
さらに第4四半期は修学旅行のピーク期となっており、2026年7月期下期 売上高は400百万円を想定
2026年7月期上期比較で+87百万円と上期を上回る見通し

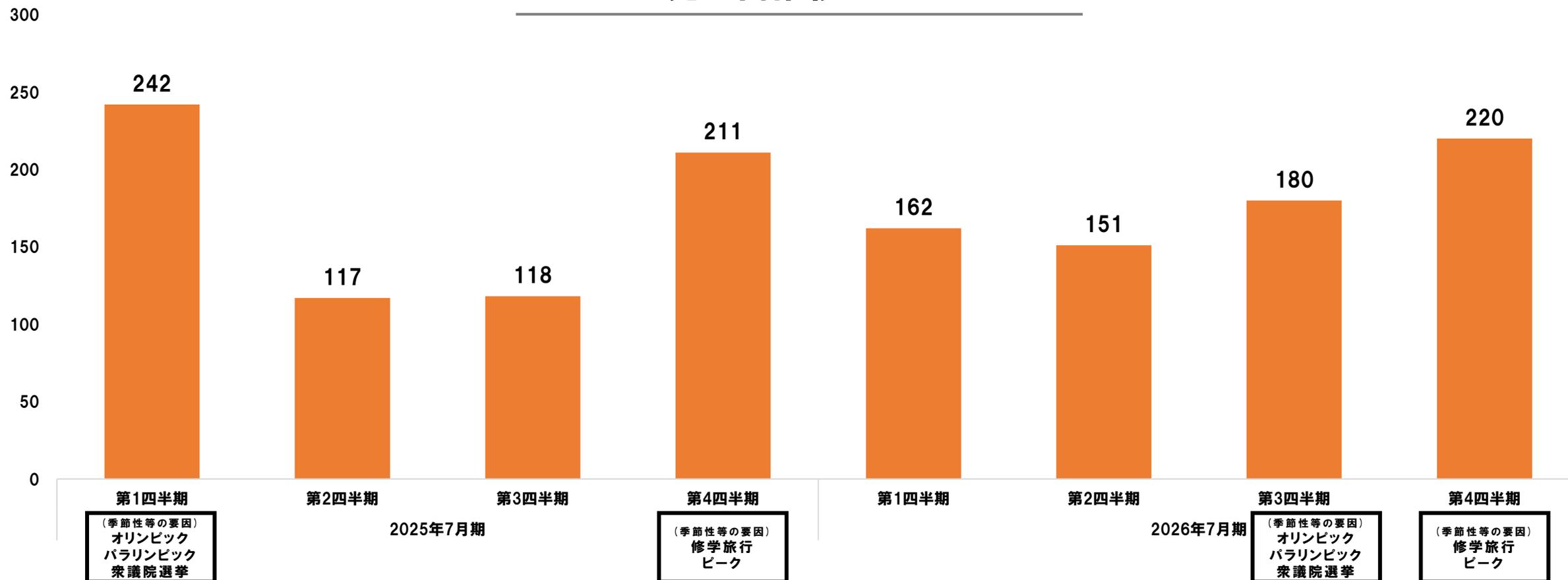
売上高（百万円）※決算短信セグメント数字



四半期別の業績推移でみると

第3四半期に国際イベント・衆議院選挙の収益が加算、第4四半期に修学旅行期のピークとなる
修学旅行需要についても、現時点の受注状況は前年を上回って推移しており前年収益を超える見通し

売上高推移 (百万円)



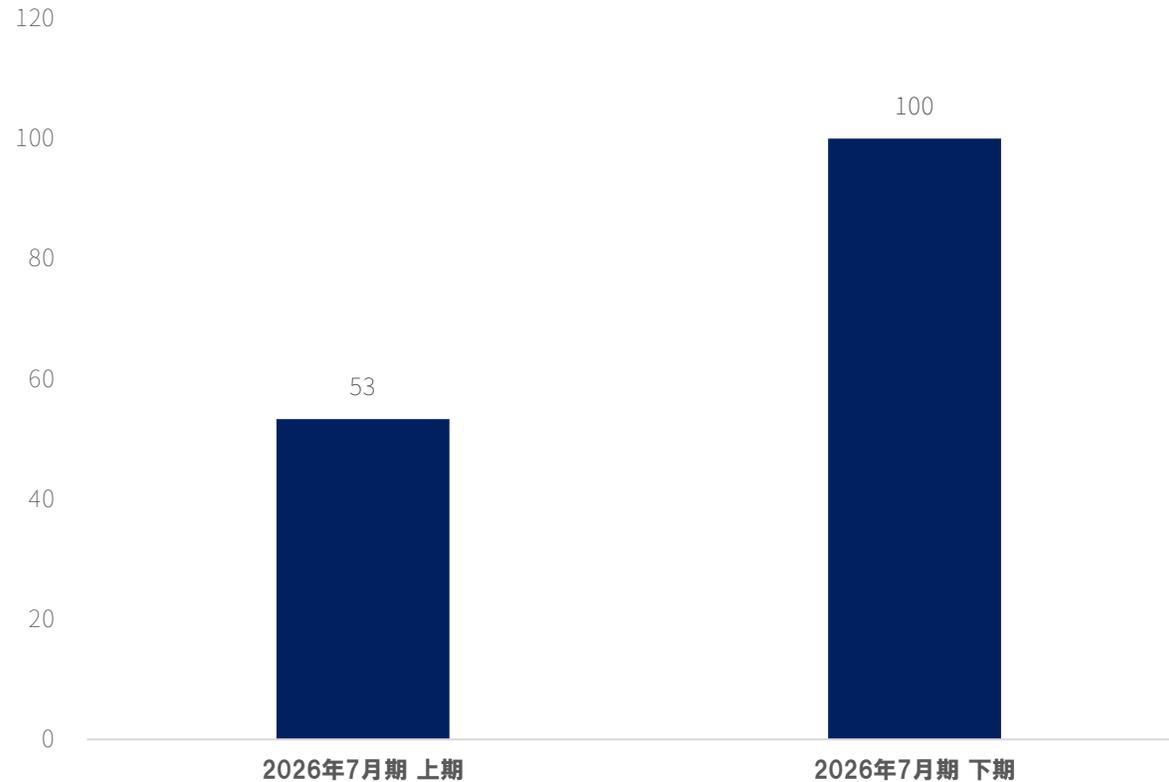
A woman in a white blazer is looking at a smartphone held by another person. The image has a blue overlay. The text '03' is positioned above the main title.

03

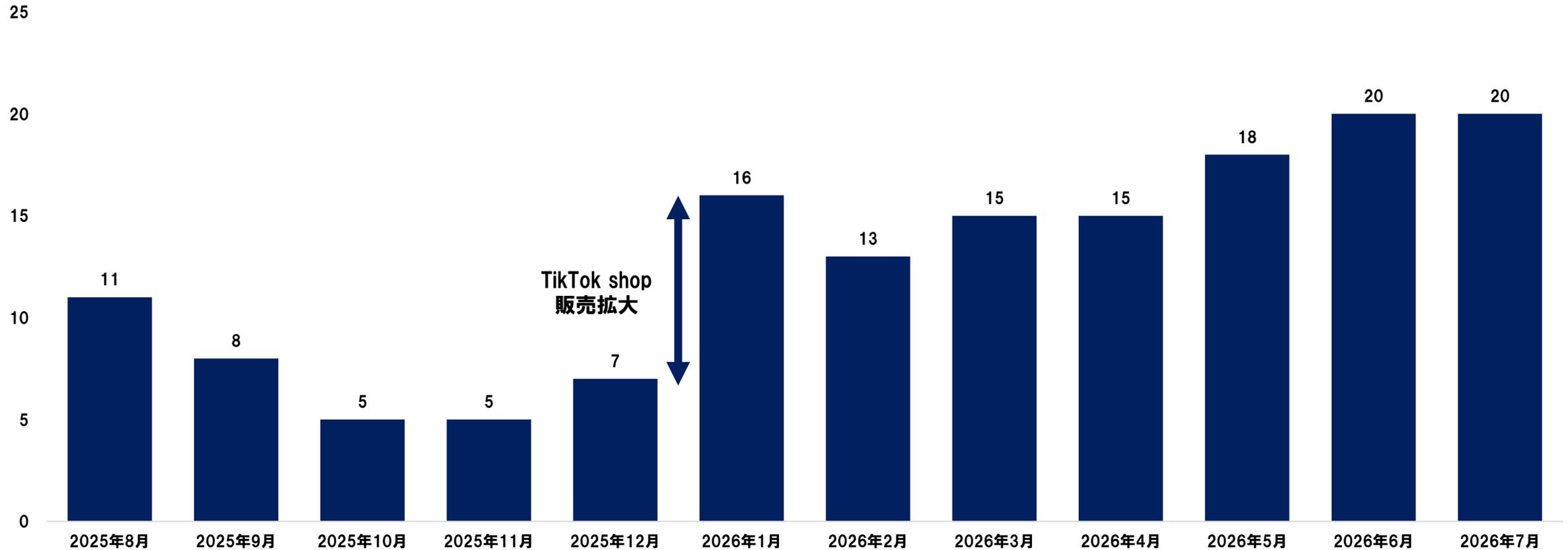
コマース事業

コマース事業の2026年7月期通期（下期）見通しについては、TikTok Shop経由による販売が伸びており、
2026年7月期下期 売上高は100百万円を想定
2026年7月期上期比較で+47百万円と上期を上回る見通し

売上高 (百万円) ※決算短信セグメント数字



第2四半期に取り組みを開始したTikTok Shopによる販売戦略で数字が回復しており、
 1月は単月で売上高が16百万円となった
 2月は一部商品在庫切れなどの影響もあったが、現在は解消し下期は段階的な売上拡大を見込む



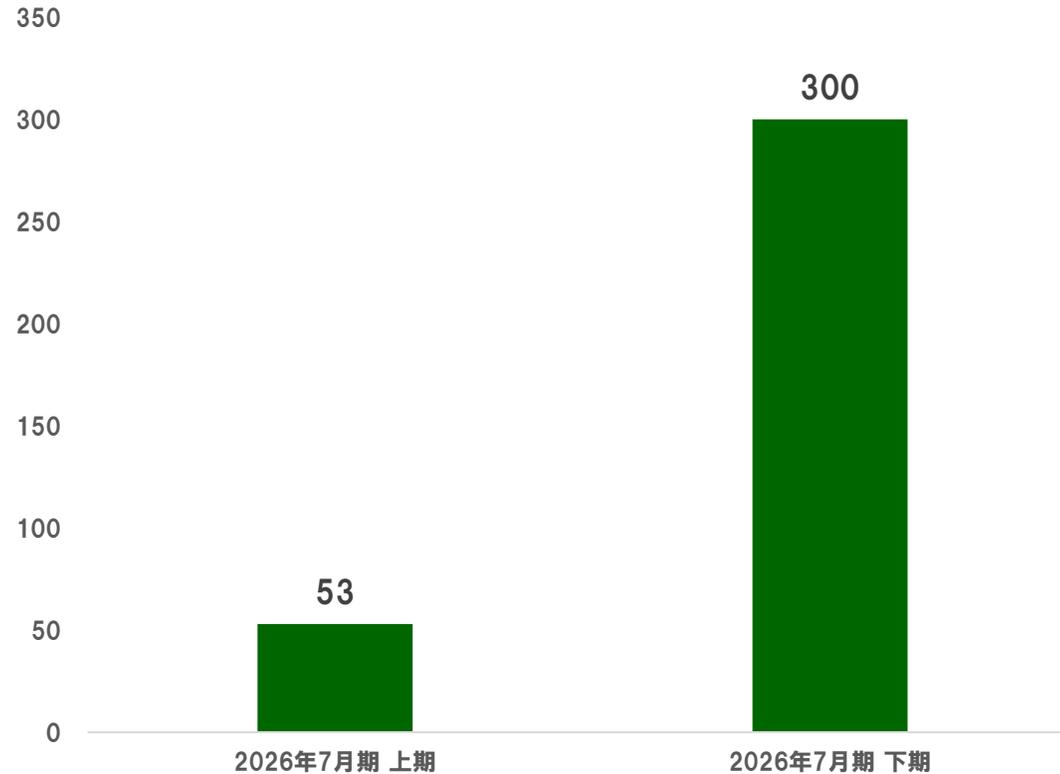
04

デジタルアセット・Web3事業



デジタルアセット・Web3事業の2026年7月期通期（下期）見通しについては、SOBAプロジェクトが順調に推移していることに加え、ビットコイン・セイヴァーが順調に立ち上がり、2026年7月期下期 売上高は300百万円を想定。2026年7月期上期比較で+247百万円と増収見込み

売上高 (百万円) ※決算短信セグメント数字



特に、ビットコイン・セイヴァーが12月立ち上げから順調に推移
 複数の解除案件を受託していることに加え、169BTC (約17億円) 規模の大型案件も複数受託
 CryptoDiverとの戦略的業務提携などにより、案件の安定的なパイプラインを創出できており、
 2026年7月期下期に複数の解除案件が発生する予定

売れる
ネット
広告社
GROUP

超
特大IR

売れるネット広告社グループ、
【総額約1,447億円規模】暗号資産(仮想通貨)
 解析・回収市場への**独占アクセス権**を獲得
 世界78カ国展開「CryptoDiver」との**戦略的業務提携**に関するお知らせ!
 ~「回収資産の40%」を成果報酬とする高収益モデルで、業績への貢献を最大化へ~

売れる
ネット
広告社
GROUP

重要
IR

169BTC
 Bitcoin Savior、
169BTC相当の暗号資産回収支援案件を受託
 ~CryptoDiverとの連携による解析体制の高度化および進行中案件の状況について~

デジタルアセットトレジャリー戦略: 3つの柱によるデジタルアセット活用

当社グループでは、デジタルアセット関連事業の展開とあわせて、暗号資産を保有するだけでなく、戦略資産として活用するトレジャリー戦略を検討

① 資産保有

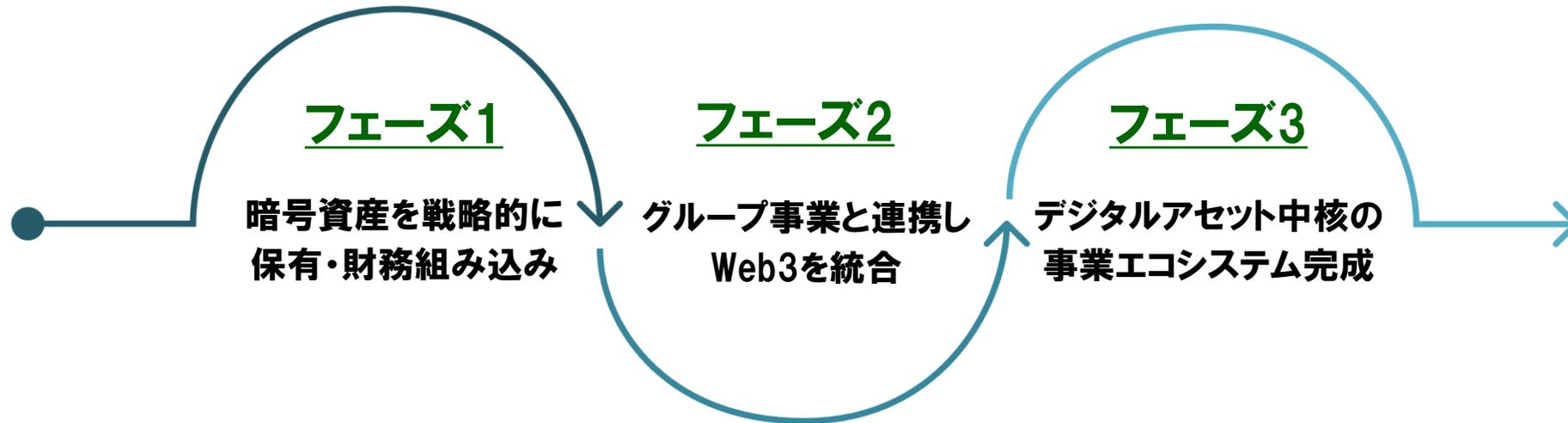
暗号資産をグループの戦略的資産として保有することで、将来的なデジタル資産市場の成長を取り込む

② 事業シナジー

デジタル資産復旧サービスなどの事業とのシナジーを活かし、暗号資産を活用した新たなサービス展開を進行

③ エコシステム構築

Web3サービスやデジタル資産関連ビジネスと連携することで、デジタルアセットを中心としたエコシステムを構築



6

M&A戦略について

今期提案受理数は50件以上で基本合意締結を4件行っている。
現時点で今期最終合意はSOBAプロジェクト1件となっているが、
現在4件の基本合意契約を締結しており、今期中に追加の最終合意をめざす



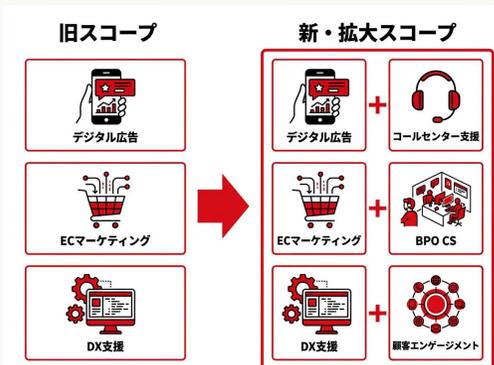
2026年7月期 重点拡張領域

2026年7月期については、
既存事業との親和性が高く、相乗効果が期待できる3つの領域を中心に事業拡張を進める



マーケティング支援領域の拡張

マーケティング支援サービス拡張として、
顧客接点領域(コールセンターなど)の
強化により新たな収益機会を創出



通信サービスの拡張

eSIMなど次世代通信サービスの
ラインアップ拡充により、
通信領域でのシェア拡大を図る



デジタルアセット領域の拡張

仮想通貨関連サービスをはじめとする
デジタルアセット分野において、
新たな収益機会を創出

Bitcoin Savior
ビットコイン・セイヴァー

売れる
ネット
広告社

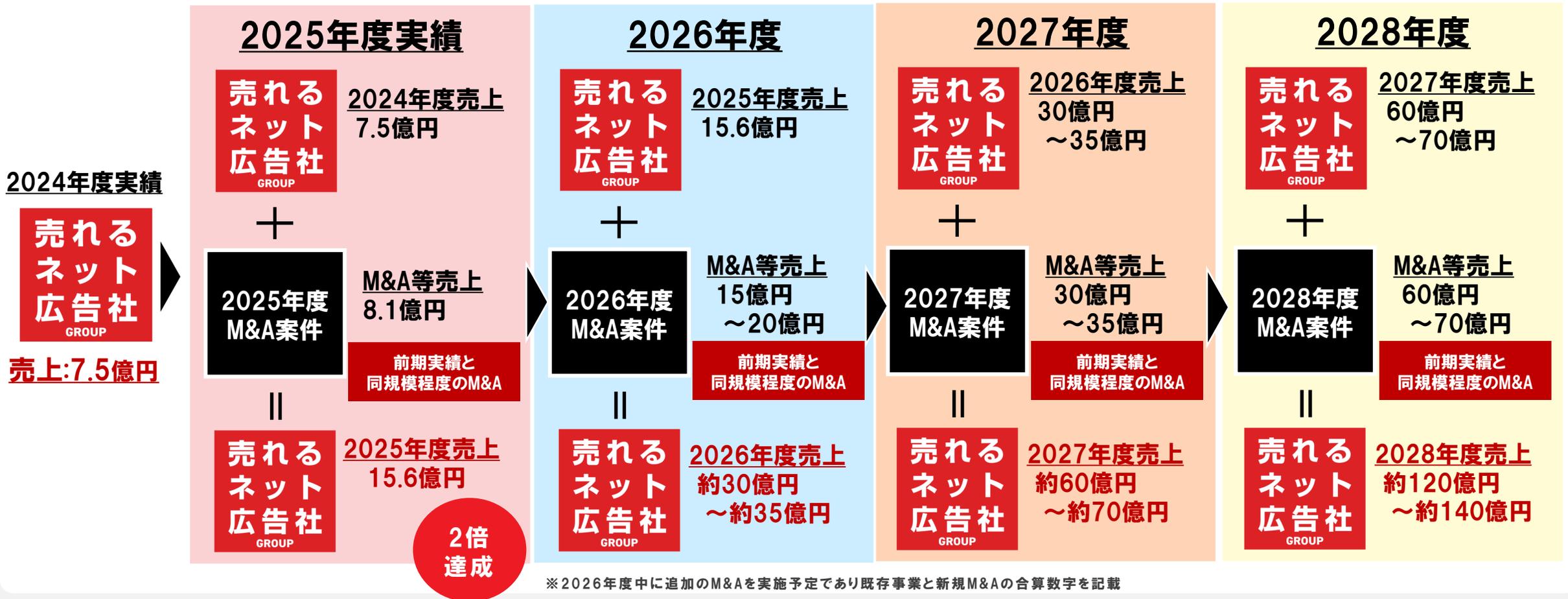
【総額約1,447億円規模】暗号資産(仮想通貨)
解析・回収市場への独占アクセス権を獲得
世界78か国展開「CryptoDiver」への戦略的業務提携に賛同お知らせ！
~[取引量の40%]を返戻額とする高還元モデルで、重額への貢献をお呼びへ~
~CryptoDiverとの連携による解析体制の高度化および高付加価値案件の獲得について~

重要
IR

169BTC
Bitcoin Savior,
169BTC相当の暗号資産回収支援案件を受託

収益イメージとしては、「前年の売れるネット広告社グループ売上高」と同規模程度の売上高のM&Aを実行していく計画
「戦略的同規模M&A」を実行し、グループ(連結)経営で**売上・利益の拡大を目指す**

【戦略的同規模M&Aイメージ図】 ※イメージ図であり確定情報ではございません。



※2026年度中に追加のM&Aを実施予定であり既存事業と新規M&Aの合算数字を記載

今後は「既存事業の成長」・「M&A事業による成長」・「新規事業による成長」を融合して、
売れるネット広告社グループとして、「4年以内(2028年)を目途に売上高100億円=[Ureru100]」
および今後のプライム上場も見据え、時価総額250億円以上の実現を目指す

※時価総額は売上高当期純利益率5%・PER50倍で想定

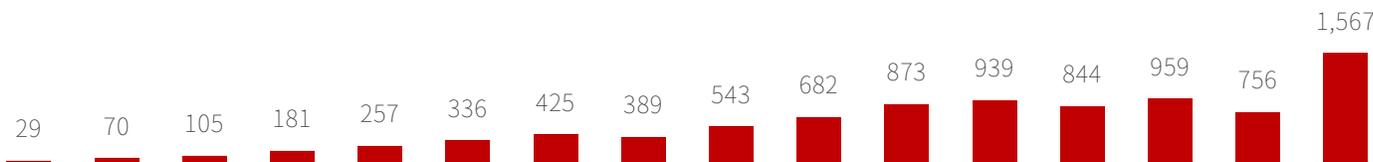
売上成長イメージ



URERU
100

2024年比売上
約13倍

(百万円)



2026年1月5日より、**新代表取締役社長CEOとして植木原宗平**が就任いたしました。
上場企業としての成長フェーズに合わせ、「個人技」から「チームと仕組み」へ経営体制を進化させ
持続的な企業価値向上を目指します。



【新体制が実現する 3つの変革】

-  **01 収益構造の転換**
多角化と高収益性の実現
-  **02 組織の仕組み化**
属人経営からの脱却
-  **03 非連成長への挑戦**
ブライム市場を視野に

完全に新体制となる第3四半期以降、新体制のもとグループ一丸でUreru100の実現を目指してまいります。

投資家の皆様には、
ぜひ当社の経営方針と基本戦略をご理解いただき、
グループ(連結)経営で
成長し続ける当社を見守っていただければと存じます。

今後も世界中にたくさんのドラマを創ります！

売れる
ネット
広告社
GROUP

売れる
ネット
広告社
GROUP

売れるネット広告社グループ株式会社

東証グロース市場(証券コード:9235)